

りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

R Alumni

立命館大学校友会

No. 264 2016 APRIL

R Alumni

りつめい No.264／2016年4月号

発行所／立命館大学校友会／年4回発行

発行人／村上健治

編集人／加藤美佐子

〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1

Tel. 075 (813) 8216 Fax. 075 (813) 8217

URL : <http://alumni.ritsumeijp>

E-mail : alumni@st.ritsumeijp

〔巻頭特集〕

命を見つめて



輝くひと

劇団四季所属 ミュージカル俳優

雅原 慶さん('07法)

“20歳のスタート”が私の個性

劇団四季と言えば、ミュージカルの最高峰。知らぬ人はいないだろう。では、そこで主役級の重要どころを演じる立命館大学の出身者がいることはご存知だろうか。『キャッツ』『アイダ』『ウィキッド』など、数々の人気作に出演している雅原慶さんだ。

もともとは商社を目指し、法学部で国際法を専攻していた。ミュージカル俳優になろうと決意したのは大学3年生、20歳の時。すでに就職活動が始まっていた。「友達に誘われて行った『キャッツ』で、胸を打ち抜かれるような衝撃を受けた。どうしても『キャッツ』の役をやりたいと思ったんです」とは言え、演技も声楽も全く経験がない。子どもの頃から芝居やダンス一筋だったり、芸術系の大学から四季の舞台を目指す人とは、どう考えてもスタートが違いすぎる。それでも「やらないで後悔するより、やって後悔するほうがいい」と、レッスンに通い出した。ジャズダンスやバレエ、声楽に演技とレッスンを重ねる中で、「自分の武器は歌なのだ」と気付く。そして大学卒業後の2008年、四季のオーディションに見事合格し、俳優としての第一歩を踏み出すことになった。

だがここで、「まてよ」と舞い上がる気持ちをぐっと落ち着ける。他の合格者に比べ、自分は素人同然だ。少しでも成長しようと、研究所に入所するまでのわずかな時間でニューヨークへ渡り、本場のレッスンを受けた。努力は実を結び、その年に『マンマ・ミーア!』で初舞台を踏んだ。

実力ある役者たちの中で、毎日がくように必死だったという2年目のある日。今後劇団に残れるかどうかをかけた抜き打ちテストが行われた。そこで『キャッツ』の曲を披露した時、高い歌唱力が評価されて20歳から願ひ続けた『キャッツ』の役に抜擢される。まさにピンチをチャンスに変えた瞬間。その後、2012年に『アイダ』でついに主役を、翌年には『ウィキッド』でも主役を演じた。「常に劇団が、そして社会がどんな俳優を求めているのかを考え、反映しています。考え方が論理的なのは、法学部卒ゆえだろうか。「そうかもしれません。台本の読み方や考え方が『俳優らしくないよね』と言われることもあって。以前は芸術系の大学で専門的に学んでいないことがコンプレックスでしたが、他の役者とは全く違うことを学んだ経験こそ、私の面白さ、個性なのだと思うようになりました」。

初舞台から8年。これから女優としての第二章に入る。生き方がより濃く役ににじみ出る今後、舞台でどんな姿を見せてくれるだろうか。

(文：斎藤万里絵 表紙写真：竹下さより)



『キャッツ』でメインキャストのグリザベラを演じる雅原さん

劇団四季所属 ミュージカル俳優

みやはら けい
雅原 慶さん ('07法)

輝くひと
96

校友会HPで雅原 慶さんからのメッセージ映像をご覧いただけます！
さらに誌面では紹介しきれなかった写真やインタビュー内容も！

〈主な出演作〉

- 『アイダ 愛に生きた王女』(アイダ)
- 『ウィキッド』(エルファバ)
- 『キャッツ』(グリザベラ/ジェリーロラム=グリドルボーン) 他多数

『キャッツ』 2016年7月 大阪四季劇場にて開幕

24匹の個性豊かな猫たちが、都会のごみ捨て場を舞台に、歌やダンスを繰り広げる。世界36カ国で上演される名作で、日本では1983年の初演以来、9000回以上の公演を誇る。

その他の公演は劇団四季HPでご確認ください ▶ <https://www.shiki.jp/>

立命館大学校友会報

りつめい APRIL 2016
No.264

03 巻頭特集

命を見つめて

01 輝くひと

雅原 慶さん

08 RITSUMEI INTERVIEW

本田味噌本店 7代目

本田茂俊さん

12 立命館の研究者たち

「小さな電力も発想次第で世の中に貢献
“握ってオン、離せばオフ”の省エネマウス」
理工学部 道関隆国教授

14 3.11復興への願い

「全町避難の町に寄り添う」
西崎芽衣さん

15 復興支援金芳名録

16 校友会ネットワーク

校友会行事報告
今後の予定

18 校友会未来人材育成基金

未来を切り拓く母校の後輩たち

Present

アンケートにご協力いた
だいた方にオリジナル
グッズをプレゼント中！

▶詳しくはP.30をご覧ください。



20 校友会連絡先一覧

22 証明書発行・施設利用連絡先
～立命館はご卒業後もあなたのそばに～

24 学生イベント＆スポーツ

26 キャンパストピックス

29 +Rな人

田辺大介さん(経済4)

30 INFORMATION

編集室から

命

を見つめて

あの東日本大震災から5年。
多くの人が、命の尊さを感じながら歩んできました。
いま、命を見つめ、命に寄り添う校友たちがいます。
彼らと一緒に、もう一度、“共に生きること”を考えてみませんか。

小澤詠子^{さん}

鬼丸昌也^{さん}

01-TESHIMA

命を見守る島の看護師

瀬戸内海に浮かぶ、豊島。自然豊かな小さな島に住む約870人のうち、190人近くが80歳以上の高齢者だ。この島には、常駐の医師はいない。唯一の診療所では、住民たちから“うたちゃん”と呼ばれる小澤詠子さん（'03経営）が看護師として働き、日々お年寄りと向き合っている。

「先生に検査の結果を聞きましょうね」。船着き場からすぐの小さな診療所「豊島健康センター」で、小澤詠子さんが高齢の男性に声をかける。ガラス戸から見えるのは、穏やかな青い海。時折、島民の足である旅客船の汽笛が響く。11年前、島で唯一の開業医が引退してからは、香川県高松市にあるへき地医療支援センターから医師が高速船で30分かけて訪れて診察にあたっている。週4日、午前中だけの診療だが、毎日20人ほどが来所すると言う。小澤さんはここで働く、たった一人の常勤正看護師。診療の他に、毎日お年寄りの自宅を車でまわる「訪問看護」も続けてきた。一人一人と向き合う中で、高齢の住民がどのように暮らし、どんな事に困っているのかを把握してきた。そして時には、自分の最期について静かに語るお年寄りの言葉にじっと耳を傾け、その気持ちを受け止めることもある。

大学院進学、そして出産

「去年はうたちゃんにとって、とんでもない一年だったよね」と、医師の岩井敏恭さんが笑う。小澤さんは高松市にある大学院に通い始めていた。仕事が終わるとすぐに診療所を飛び出し、船に乗る毎日だ。「今必要だと考えているのは、高齢者が生活上でどんな困難を抱え、どのような生活を望んでいるかに着目し、住み慣れた島で最期まで暮らせるようにする体制です。そのため、より深い医療知識が欲しくて進学を決めました」。夜間の授業を受け始めて間もなく、長男・周（あまね）ちゃんを授かった。昨年11月に出産して育児休暇に入ったが、今年4月には復帰し、育児と仕事、さらに勉強の両立を目指す。「これまでは地域や診療所の心強いサポートがあったからこそ続けることができましたが、子どもが生まれた今は、どう両立しようかと考えています」。そんな話をする傍らで、医師やスタッフたちが交代であやしたり、来所したお年寄りが周ちゃんを覗き込んで「日本の宝や」と満面の笑みを浮かべると、小澤さんにも笑顔が広がった。

もちろん、小澤さんが復帰しても島の医療体制は十分とは言えない。「県内には24の有人島がありますが、どこも高齢化、過疎化が進む上に医師不足です。香川県小豆島の本院には引き続き医師の派遣をお願いしていますが、そこ自体も医師不足なので、この春からの診察体制も決まっていないのが現状です。このまま少人数で現場を支えきれんのだらうかとも思いますが、やるしかない。地元の消防団とも連携する



など『自分たちでできることはやろうね』と話しています。

豊島との出会いを導いた、家族の死

島のこれからを語る小澤さんの眼差しは、ここで生まれ育った島民のように見えるが、生まれは大阪。本格的に移住したのは9年前だ。「もともと医療福祉に興味を持っていたのですが、高校2年生の時に父が癌で亡くなって。それが人生で初めて経験した“死”でした。その時は父を失くしたショックから医療分野に進めず、立命館大学経営学部環境学を選んだのです。医療でなくても、環境の分野なら社会の役に立てるのではと思って」。入学後は学術系

のサークルに所属し、そこで豊島と出会うことになる。当時、豊島では産業廃棄物の不法投棄が行われ、大きな社会問題となっていた。この問題を詳しく調べようと豊島を訪れたのだ。穏やかな時間が流れる島だったが、最初の出会いは「ガツンと頭を殴られたよう」だったと言う。「住民の一人に『ここで学んだことをどう活かすのか』と聞かれて。島に来て、その場限りになってしまう人が少なかったからでしょうね。この言葉で、豊島にもっと通って奥深い事情も知り、理解したいと思うようになりました」。

そんな思いから、卒業後は香川県高松市の医療機関に就職。週末になると船で豊島に渡り、地域の勉強会などに参加した。学

生時代からお世話になった住民たちが年老いていく中、島の看護師がいずれ一人もいなくなると知って、小澤さんは看護師になることを決意する。「うたちゃんが看護師になったら、最期は頼むで」という言葉に支えられ、5年後には正看護師の資格を取得した。「その人の生活状況や希望を知っていたら、いざという時にどのような医療が良いのか…島に残って最期を迎えられるようにするのか、それとも島の外で治療を受けてもらうのか。その判断と意味付けができます。今後はそんな情報を共有するネットワーク作りをしていきたいですね。もともと医療とは違う分野から入り、豊島の課題や住民の生活状況を知っていたことが、今につながりました」。

命をつなぐ

今、小澤さんが住んでいるのは、長い間訪問看護を続けてきたお年寄りの家だ。「わしはどんな死に方をするんかのう」と笑って話した翌日、息を引き取った。ケアするだけではなく、小澤さんが悩んだ時には何度も話を聞いてもらったというその人の死に、しばらくは喪失感から抜け出せなかったと言う。そんな思いを抱えながら、その後縁あって小澤さんが残された家に住むことになった。家主を失って朽ちてゆく家屋も多い中、残された家を守ることになる。長男の周ちゃんも島の人に見守られながら、いずれここで育つことになるだろう。「ここでは、みんなが老いることや死ぬことを当たり前を受け止めている。島の人た



ちと触れ合ってきた中で、死と向き合うお年寄りたちが様々な感情を見せてくれたことが、私の確かな支えになっています」。

高齢化や過疎、医療体制など、住民たちが考えなければいけない課題は山積みだ。しかし、島の命に寄り添い、命をつなぐ“うたちゃん”の笑顔は、瀬戸内の小さな島にとって希望の光になりつつある。



土庄町国民健康保険 土庄中央病院 看護部 おざわうたちゃん 小澤詠子さん	
2003年	立命館大学経営学部卒業 香川県高松市の医療機関に就職
2009年4月	小豆島准看護学院入学
2011年3月	同校卒業 准看護師の資格取得 診療所で勤務を始める
2011年4月	高松市医師会 看護専門学校入学
2014年3月	同校卒業 正看護師の資格取得
2015年4月	香川県立保健医療大学大学院入学

〔撮影〕津久井珠美



診察にあたる岩井医師と小澤さん。この日は医大生も研修に訪れていた。



02-AFRICA

子どもを兵士にしないため 今、私が日本でできること

今この瞬間も、銃を握らされた子どもたちがジャングルの奥で息を潜めているー。

「子ども兵」という根深い問題に取り組んでいるのが、認定NPO法人テラ・ルネッサンスだ。なぜこの社会問題に、日本で取り組むのだろうか。在学中に団体を立ち上げた鬼丸昌也さん（'03法）の講義を、大学生たちと共に聞いた。

金曜日の午後、東京都内の大学で認定NPO法人テラ・ルネッサンスの理事・鬼丸昌也さんが学生たちに問いかけた。「世界では、35カ国で25万人もの子どもたちが兵士として働かされています。なぜ子ども兵が増えると思いますか?」。鬼丸さんは真剣な表情で続ける。「背景には、僕や、みんなの暮らしがあります。子ども兵が増えることと僕たちの暮らしは、実は密接な関係があるんです」。

この日、鬼丸さんはコンゴやブルンジ、ウガンダといったアフリカの国々で兵士にされる子どもたちの現状、そしてその背景を説明した。例えば20年以上内戦が続くコンゴで争いを激しくさせているものが、私たちの生活の中にある。“レアメタル”と呼ばれる希少金属だ。これは携帯電話やスマートフォンに使われているが、この金属の採掘をめぐる内戦が勃発する度、洗脳しやすい子どもたちが誘拐され、兵士として人を殺すように命じられる。「僕がウガンダで出会った少年は、自分の母親を殺すように命令されました。殺人に加担す

ると、『もう自分は親のもとに、生まれ育った村には帰れない』という思いから孤立していく。そんな子どもたちと、先進国の暮らしは切り離せない関係にあります。逆に言えば、事実を知り、生活の中で何をかうか、選択するかで変えられるということです。今日はみなさんと、子ども兵を増やさないために何ができるか考えていきたいと思います」。

活動の一步は、 関心を持つことから

テラ・ルネッサンスは2001年、鬼丸さんが大学4回生の時に立ち上げた国際協力団体だ。現在は日本人スタッフ14人と、各国の現地スタッフ40人が地雷除去や子ども兵の社会復帰事業に取り組み、「全ての生命が安心して生活できる社会」を目指している。世界でも特に深刻な子ども兵の問題に取り組む団体は、日本ではテラ・ルネッサンス以外にほとんどない。あえてこの問題に取り組む鬼丸さんたちは、現地で元子ども兵たちの声を聞き、心のケアや食料と医療の支援、さらに職業訓練で社会への復帰を進めてきた。「手に職をつけることで、元子ども兵たちの平均月収は128円から7008円まで上がりまし

た。経済的に自立し、社会とのつながりが出来ることで傷ついた自尊心が回復し、『生きていてもいいんだ』と思えるようになります。目の前の仕事に真摯に取り組むことが、彼らの生きる力を沸き立たせているのですね」。テラ・ルネッサンスでは、これまでの10年間で168人の元子ども兵を社会復帰に導いた。鬼丸さんのもとには、教育

提供 認定NPO法人テラ・ルネッサンス



ウガンダの社会復帰支援センターで木工大工の授業の様子



洋服店を開き、自立を目指す女性たち（コンゴ）

りするつもりだったんです。ところが高校の先生に『大学では様々な考えの人に出会えるから、絶対に行くべきだ』と言われ、進路に選んだのが立命館です」。入学後は新聞配達やカラオケ店での住み込みのアルバイトで学費を稼ぎながら、地雷除去などに取り組むNGOの活動にも参加。4回生の時には、カンボジアでの地雷被害地

現状を知った。「地雷は除去すればなくなりますが、元子ども兵は深い悲しみを抱えたまま孤立する。時間を超えて続く苦しみは深刻ですが、まずは事実を知ってもらうことから変化が始まると思っています」。

日本の被災地を支えた ウガンダの元こども兵

鬼丸さんの活動で、転機になったのは2011年に発生した東日本大震災だったと言う。「被災地の問題に取り組むべきかどうか、僕は本当に悩みました。まず国内問題に取り組んだ経験がない上、海外事業だけでも運営資金は厳しい。もしかしたら団体が倒れてしまうのではないだろうか。でも、被災地のために何かしたい。そんな思いに揺れる中、ウガンダから一本の電話が入りました」。それは、現地でスタッフとして働くウガンダ人女性からだった。「ウガンダの人たちが、日本の被災地のために何ができるだろうかと話し合い、半日で5万円を集めたわ」。5万円という額は、現地では大金だ。社会復帰した子どもたちや女性たちが、得られた収入の中から寄付をすると。「それで、同じ日本に住んでいるあなたは何をするの?」と続けた女性の言葉で、鬼丸さんは東北の被災地支援を決断。被災地の女性たちに刺し子の商品を作してもらい、収入につなげるという取り組みをボランティアと共に展開させた。このプロジェクトでは、5年間で被災地に住む約180人の女性たちに約2600万円の賃金

全ての人には 未来をつくる力がある

学生たちを前に鬼丸さんが話終わった後、一人の女子学生が手を挙げた。「私に今出来ることは何でしょうか?」鬼丸さんはこう答えた。「遠く離れたアフリカの問題は、僕なんです。まずは事実を知ること。そして今日知ったことを誰かに伝えてください。物を買う時に、それがどんな経緯を経ているのかを調べてみてください。全ての人には、未来をつくる力がある。あなたじゃなければ、助けられない人がいます」。



〔撮影〕宅間國博

認定NPO法人テラ・ルネッサンス理事・創設者

おにまるまさや
鬼丸昌也さん

1979年 福岡県生まれ
1998年 立命館大学法学部入学
2001年 カンボジアで地雷除去活動を視察
テラ・ルネッサンス設立
2005年 NPO法人格取得
ウガンダの元子ども兵支援事業を始める

平和活動の現場から、子ども兵や地雷被害などの国際問題を伝えている。

●著書

『僕は13歳 職業 兵士』（合同出版）
『こうして僕は世界を変えるために一歩を踏み出した』（こず書房）
『僕が学んだゼロから始める世界の変え方』（扶桑社）



講演後、鬼丸さんのもとには「将来を考える機会になった」という声が寄せられることも。

撮影協力：昭和女子大学

機関や行政、企業など様々な団体から事業の話を知りたいと、講演依頼が寄せられる。現在は年に約120回の講演を行うほど各方面から引っぱりだこだが、その始まりは大学時代より前にさかのぼる。

福岡県の小さな村で生まれ育った鬼丸さんは、経済的な理由で大学への進学は諦めていた。「大学へ行かずとも社会を変える仕事がしたいと思い、政治家に弟子入

認定NPO法人テラ・ルネッサンス

『全ての生命が安心して生活できる社会の実現』を目指し、カンボジアやラオスでの地雷除去や不発弾処理支援活動、地雷埋設地域での生活再建支援、ウガンダ・コンゴ・ブルンジでの元子ども兵の社会復帰支援などを実施。

住所 京都市下京区五条高倉角境町21-403
TEL 075-741-8786
HP <http://www.terra-r.jp>

〔寄付の方法〕

毎月千円から定額寄付ができるファンクラブ会員を募集。詳しくはお電話または下記ウェブサイトへ▶<https://www.terra-r.jp/lp/>



[撮影] 竹下さより

本田味噌本店 7代目

本田茂俊さん

1975年 産業社会学部 卒業



守るべきものを守り、変化は時に応じて

天保元年(1830年)から今日まで、京都御所のすぐ側で暖簾をかかげる本田味噌本店。変えないものは頑なに变えず、その時代に応じて変化を取り入れる味噌造りで、和食文化を支え続けてきました。7代目の本田茂俊さんが考える“伝統の味を守ること”とは。

本田 立命館に入った理由ですか？よく聞かれるのですが、実は特に理由はなくて。父親も立命館の卒業生ですから、家庭でよく話題にのぼっていましたね。それに父親の同級生たちも家に遊びに来られていて、僕も小さい頃から一緒になって校歌や応援歌を歌っていました。それくらい自然で、馴染みのある存在だったんです。

学生生活で一番衝撃を受けたことなら、やはり地方から来た同級生たちとの出会いでしょうね。僕は京都生まれ京都市育ち、中学校から立命館の内部進学です。大学に入学し、衣笠キャ

ンパスに行くとき地方から来て下宿している友達に初めて会うわけです。そうすると、もう全然違うんですよ、考え方がったり、生き方が。大学生の頃って、やはり自分の将来や人生について考える時期ですよね。そんな時期に彼らと話すのは、本当に楽しかったし刺激になりました。

そんな友達との忘れられない思い出は、大学3回生の時のこと。友達の一人に、富山県から来た関口君という同級生がいました。高校では山岳部だった彼が、僕に「山小屋でアルバイトをしないか。最高に面白いぞ」と誘ってきたのです。富山にある標高3000メートルの立山は、寒さが厳しくなる11月頃には入山禁止になり、一般の登山者は翌年のゴールデンウィーク頃まで入れません。関口くんが誘ってくれたのは、その山小屋を開けて、登山客を迎える準備をするというアルバイトでした。時期は3月の終わり頃だったかな、僕と関口君と山小屋のオーナーで、立山へ向かうことになりました。富山側から登り、雪に覆われた山をケーブルカーで登って最終地点に到着しました。春先と言っても、あたり一面真っ白な雪景色。何メートルも根深く積もっています。そこでオーナーが僕にスコップを1本渡して、「このあたりを掘るんだ」と言うのです。この下に一体何があるのだろうと思いながら、ひたすら掘り続けました。深くなると穴の中に入り、雪を四角に切り出して、頭上より高く、上へ上へと放り上げていきます。オーナーの指示でさらに掘り進んでいくと、何か黒いものが見えた。それが山小屋の屋根だったんです。雪にすっぽり埋まっていたわけですね。さらに掘り進み、なんとか窓を掘り出して中に入り、まずは布団を点検。次は食糧です。前の年に関口くんが米や卵を地中に埋めていたので、その越冬米やら卵やらを掘り出して食べました。関口君は「これがおもしろい」と言っていたんですが、僕はあまりの大変さに、思わず「何



本田味噌本店

天保元年(1830年)創業 京都市上京区室町通一条上ル

初代、丹波屋茂助が御所のご用命を受けて宮中に献上したことが始まり。看板商品の西京白味噌は、料亭の懐石料理から家庭まで幅広く使われている。



がおもしろいねん！」と（笑）。

それから1ヵ月は、毎日毎日雪掘りです。窓からあかりが入るよう壁面の雪を掻き分けたり、雪で玄関までのスロープをつくったり…最後のほうには、僕も面白くなっていましたね。それで4万円もらったのかな。下山してすぐその足で銭湯に行ったけど、あれは最高に気持ちよかったなあ。だって1ヵ月間、風呂に入れなかったわけですから。

家業を継ぐ一步を踏み出す

本田 卒業後は「他人の飯を食ってこい」ということで、約2年は横浜の同業社へ。その後京都へ戻ってから、さらに1年ほど食品問屋で働いた後、家業を継ぐことになりました。それが26歳の時。当時、うちは小所帯でしたから僕も蔵に入って味噌の仕込みから販売、それにもちろん事務も、とにかく仕事はなんでもやりましたね。

本田味噌本店の創業は天保元年。京都御所の西側、いま暖簾がかかっているこの場所で、初代が味噌造りを始めました。なぜこの場所かと言うと、昔から良質な地下水に恵まれていたからです。当時は一般に販売するのではなく、宮中に納めるためだけに味噌を造っていました。ところが明治維新を迎え、天皇家が東京へお移りになります。そこで、うちも東京へ移ることを考えたようですが、「水が変わると味が変わる」ということで、京都に残ったのです。それからですね、一般向けに商売しだしたのは。

これまで38年味噌造りにかかわってきましたが、よく聞かれるのが「どのように家業を継ごうと決心されたのですか」ということです。正直に言うと、決心というのはあまりなかった。ここで生まれ育ち、長男が継ぐもんやという流れがありましたから。と言いつつ、実は若い頃には「あんまり継ぎたくないなあ」という思いもありましたよ。味噌屋って、かつこいいと思えなかったんです。毎日の暮らしもそう。本店の奥が住宅になっていたのですが、おくどさん（かまど）があって、祖母と母がそこで食事の用意をしていました。テレビで見る家庭は最新のキッチンでしょう。「うちはなんと古臭い…」と思ったものです。でも、家業だし仕方ないなという気持ちで。今ですか？ すごくかつこええと思っていますよ。こんなに伝統的で奥深い調味料はないですから。

和食の奥深さを生み出すもの

本田 日本には伝統的な調味料がいくつもありますが、味噌ほど味の幅があるものは他にないでしょうね。京都の甘い白味噌から、渋味の強い黒い味噌など、これだけバリエーションのあるものは、日本でも、そして世界でも類がないと思います。また、産地の地域名称がいくつも残っているのも、調味料ではおそらく味噌だけ。京都の西京味噌、愛知県の八丁味噌、仙台味噌、信州味噌、江戸甘味噌…。それぞれに伝統や文化性、特徴があるからこそ、ほんの少し使うだけで料理に奥行きがでる。和食の奥深さは、そんなところから生まれ

るのだと思います。海外でも、チーズに様々な産地と味があるのと同じですね。もし日本の味噌が、大手企業で生産される同じ味の製品だけになってしまえば、和食の奥深さは失われてしまうのではないのでしょうか。今、海外では日本食ブームとも言われていますが、日本もこれから世界に出ていくなら、「この料理は、この地方のこのような特徴のある味噌を使っています」と言えるような、文化の裏打ちがなければあかんと思っています。

味噌というのは不思議なもので、同じ原料を使っているのに蔵によって味が違う。難しいのは、伝統を守りながら、いつも同じ“本田の味”を店頭に並べることです。昔よりも大量に生産するようになった今、全て手作業で仕上げるのは無理があります。全て手で造るものの良さはありますが、しかし蔵の仕事を分析したところ、7割以上が「モノを移動させる」ことでした。蒸し上げた材料を移す、熟成場に持っていく…ここは機械化しても味に影響はありません。しかし肝心なところは、職人の技。経験と勘、伝承を活かしています。最終的に出来上がった味噌が、「ほんまに“本田の味”なのか」を見極めるのは、伝統を受け継ぎ、経験を積んだ職人。うちでは毎日8名のパネラーがチェックしています。今はそこに、科学的な裏づけもしますが、あくまでも信用するのは職人の判断なのです。

本業を大切に、新しいことは“遊び”で

本田 時代が変わったからと言って、本質は変えません。でも昔どおりの「味」と「製法」を守っていればいいのかと言うと、そうではない。かつての常連さんが10年ぶりにうちへ来たとします。その時に「変わらへんね」と思うか、「変わりましたなあ」と思うか。お客さんはどっちを期待されているか？ それは「変わらない」ということです。すっかり変わってしまったら、うちじゃない。ところが全く変わっていなかったらお客さんは落胆される。だから、ほんの少し変化を加えます。その微妙な変化が難しいところですね。うちの商品も、その時代の当主が「この時代はこれや」と見極めて、微妙に変えています。そのためには、今の時代をしっかりと見ることが大切です。それは味噌造りだけではなく、組織のあり方や考え方も同じです。

新しいことにチャレンジするのは“遊び”の部分やと思っています。今うちで“遊び”と言うと、本店に置いているラスクや京都伊勢丹で展開しているチョコレート。もともと白味噌は甘味料として使われていましたから、その甘味を「和菓子でな



店頭には西京白味噌の他、赤味噌、紅こうじ味噌などが並ぶ。

く、洋菓子で使ってみたらどうか」ということで作ってみたいです。面白いでしょ？ 文化というものは、いつも“遊び”から生まれてきました。そこに人は面白みや憧れを感じるわけですね。けれど、それはあくまで遊び。大切なのは本業です。

本田味噌本店はこの地で180年商売をやってきました。京都の伝統的な商売では、家業を大きくするより、いかに続けるかを一番大事にしていますね。綿々と続けて、商売が大きくなるかどうかは時の運です。店が傾きそうになった時も、次の世代へ向けて、とにかくつないでいく。そんな考え方が、京都の土壤に染みているわけです。

商売というのは、いい時もあるしそうでない時もある。どんな商売も、その時代の流れや運があります。僕が心がけているのは、“良い時におごらず、悪い時に腐らず”ということ。それこそが商売の基本やと思っています。

PROFILE

本田味噌本店 代表取締役社長
ほんだしげとし
本田茂俊さん（75産社）

「高校、大学とアイスホッケー部。京都市内の学生が集まるリンクには、石田治子・あゆみ姉妹もフィギュアスケートの練習に来ていて華やかでしたね」

1952年 京都府生まれ
立命館中学校、高校を経て立命館大学へ。
卒業後は横浜で就職し、2年後に京都へ戻って
26歳の時に同社へ入社。

1987年 専務に就任

2000年 社長に就任

“握ってオン、離せばオフ”の省エネマウス

今、立命館大学とエレコム株式会社が産学協同で開発したアイドリングストップ機能搭載ワイヤレスマウス「WINKS」が、注目を集めている。プロデュースしたのは、理工学部の道関隆国教授だ。小さなマウスに詰められた技術と、研究者の思いとは？



秘密はLEDの“発電”にあり！

パソコン操作に欠かせないマウスは、コードのわずらわしさを感じないワイヤレスタイプが人気だ。しかし電池式のため、使用前にスイッチを入れる必要がある。この一手間を面倒に感じ、電池の無駄使いと思いながらも電源を入れっぱなしにする人も多いのではないだろうか。いざ使おうと思ったら、電池切れでマウスが使えない、なんてことも…。道関教

授は、日常で起きるこんなちょっとしたストレスを解消しようと、「アイドリングストップ機能」搭載のマウスを開発し、世に送り出した。一体、どんな技術が隠されているのだろう。

実際に使わせてもらおうとマウスを手で握ったところ、あら不思議！ 自動で電源がオンになった。起動する時間を待たず、すぐにマウスが動くのも快適だ。手を離すと、今度は電源がオフになった。これなら、作業前にいちいちスイッチを

オン・オフする手間はいらぬ。次に気になるのが、電池の減り具合。待機中に電池を消費することがないので、1日8時間ほど使用する場合、単4電池2本で約2年間は電池の交換が必要ないと言う。

秘密はマウスの前後に取り付けられたLEDにあった。「LEDと言うと、まず想像するのは“発光”ですよね？ LEDは電流を流せば光るので、照明として使用されていますが、実は、電流を流さない時には光に反応して“発電”する特性があります。太陽電池と同じで、室内の光が当たると電気を発生させるのです。数十nA（ナノアンペア）というほんの小さな電力ですが、この特性を利用した回路をつくれればよいと考えました」。nA（ナノアンペア）がどれくらいの大きさなのか想像しにくいですが、クォーツ時計を動かしているのが1μA（マイクロアンペア）で、その千分の一が、nA（ナノアンペア）。「人間にはほとんど感じられない程度の電力です。大きなことはできないが、回路を工夫すればスイッチには利用できるはずだと思い、マウスへの応用を考え付きました」。

2年かけて、ようやく店頭へ

商品として店頭に並ぶまでの道のりを、「予想以上に課題があった」と道関教授

理工学部 電子情報工学科

道関隆国 教授

Profile Takakuni Douseki

1982年 福井大学大学院工学研究科修士課程終了
日本電信電話公社（現NTT）武蔵野電気通信研究所入所
1996年 博士（工学、大阪大学）
2006年 日本電信電話株式会社 NTT先端技術総合研究所退社
2006年 立命館大学理工学部教授（現職）

研究キーワードは極低電力LSI回路設計法、バッテリーレス端末構成法。「実際に世の中の役に立ってこそ、研究の価値がある」という考えで、これまで尿発電電池や植物発電を用いたバッテリーレス・ワイヤレスセンサシステムなど、様々な開発に取り組んできた。

は振り返る。社会人博士コースの学生だった宇都宮文靖さん（現エスアイアイ・セミコンダクタ株式会社）と行った「ノーマリオフのセンサスイッチ回路」の設計は、あまりに小さい電力で動作させる必要があるため難航し、完成するまでに2年がかかった。その後、当時大学院生だった田中亜実特任助教も参加してエレコム社のマウスを分解して試作品作りをスタートし、第一号機を完成させた。これを2013年に報道発表したところ、新聞記事でエレコム社の社長が知ることになり、製品化への道が開けたと言う。

こうして製品開発がスタートしたが、クリアしなければならない課題も出てきた。一番大きな課題は、暗闇の中で使用する場合にどう動かすか。会議などでスクリーンに資料を映し出して説明することはよくあるが、光量が非常に少ないとLEDは発電しない。そこで5つの部品を追加し、一度マウスをクリックすればマウスが起動し、一定の期間が経過すると

マウスが再度オフ状態となるように改良した。

もう一つは、生産化する段階での技術的な課題だった。海外の製造現場が道関教授らの開発した回路になかなか対応できず、形にして、さらに安定的に製造できるまでには時間がかかったそうだ。道関教授らもエレコム社に毎週通い、協議や技術指導を重ねたと言う。その努力の甲斐あり、開発開始から2年後の2015年9月に商品として店頭に並び始めた。

環境発電を世の中に役立てる

今回利用したLEDの発電のように、道関教授が応用に力を注いできたのが「環境発電」だ。光や人の動き、そして振動など、身の回りで生まれる小さなエネルギーを活用するというもの。1970年から80年ごろにかけて自動巻き時計などに利用されたが、それ以降は実用化が進まず、応用が広がっていなかった。「電力

があまりに小さいので、他に使い道がなかったのです。でも固定観念にとらわれないことは、ものづくりにおいて最も大切なこと。発想をほんの少し変えれば、そんな小さな電力でも立派に、そして様々なかたちで世の中の役に立つということを、どうしても証明したかったのです」と道関教授は力を込める。ほんの小さな電力だが、実は私たちの日常をぐっと快適にし、無駄な電力消費を防いで地球に優しいエコライフに貢献していることは間違いない。

「今後はnA（ナノアンペア）のさらに千分の一、pA（ピコアンペア）のエネルギーを利用し、さらに家電機器の電力待機電力を限りなくゼロにしたものづくりを進めていきたいと思っています」。

テレビやクーラー、そして照明など、私たちの身の回りにはリモコン制御の家電製品が無数にある。道関教授のチャレンジで、これから私たちの暮らしも、少しずつ変わっていくかもしれない。



当時大学院生だった田中特任助教（左）も参加し、エレコム社のマウスを分解するところから試作品作りはスタートした。



試作品（右）と、2年を費やしてついに完成した省エネマウス（左）



立命館大学とエレコム株式会社が産学協同で開発。単4形電池2本で約2年間電池の取り替えが不要。（価格：5,735円）



道関教授の研究チーム紹介

びわこ草津キャンパスの研究室でものづくりと研究に励む学生たち。撮影では、ここから生まれた数々の試作品を持ってもらった。叩くと発電するバッテリーレス・ワイヤレス電子ドラム、植物から発生する電気を利用し、健康状態を観測するバッテリーレス・ワイヤレス植物モニタリングシステムなど、どれもユニークで個性豊か。



全町避難の町に寄り添う

東京電力福島第1原発事故により、全町民が避難を余儀なくされた福島県楢葉町。
昨年9月に避難指示は解除されましたが、元の姿を取り戻すには時間が必要です。
現地に移り住み、町づくりのスタッフとして奔走する西崎芽衣さん（産社4）に楢葉の今とこれからを聞きました。



一般社団法人
「ならはみらい」嘱託職員

西崎芽衣さん
(産業社会学部4回生)

1992年 東京都生まれ。2015年4月から福島県楢葉町に移り住み、一般社団法人「ならはみらい」の嘱託職員として、1年間限定で働いている。2020年東京五輪・パラリンピックのエムブレムを新たに選ぶ「エンブレム委員会」にも選考委員として参加。

楢葉町で町民の生活再建を支援する一般社団法人「ならはみらい」の嘱託職員として働いて、まもなく1年。仮設住宅を一軒一軒まわったり、住民がイベントをする際のサポート、それに町を訪れるボランティアの対応などが仕事です。特に力を入れているのは、“住民の顔がわかるつながりづくり”。各地から来たボランティアや学生たちには、なるべく住民に町内を案内してもらうなど、交流の機会づくりを心がけています。働き始めた当初は、「私に何ができるのだろう」と悩んだこともありましたが、今は「被災地と学生をつなぐことが、私の役割なんだ」と考えるようになりました。

楢葉町との出会いは2012年、大学1年生の時に友人とボランティア団体の「そ

よ風届け隊」を設立したことがきっかけです。翌年には、楢葉町の住民が避難していたいわき市の仮設住宅を訪れて傾聴活動に取り組みました。2年半で3000軒の住宅を全て訪問したでしょうか。その時、「もっと一人一人と向き合いたい」と思うようになり、長期的な活動を考えたのです。就職活動前だったので周囲の反対もありましたが、「後悔しないように、今やろう」と決断して楢葉町へ。現地の人が引っ張ってくれたように思います。

楢葉町は、昨年の9月によく避難命令が解除されました。しかし震災前に7000人いた住民のうち、現在戻っているのは約400人。家屋は放置されているし、再開していない店舗もある。みんなが安心して住める環境、町づくりはこれからだ



緑の美しい楢葉町木戸川の河口付近。サケ漁獲地として知られ、昨年は5年ぶりに漁が再開された。



町民と町外からの協力者が共に復興を目指す「なにかし隊」。復興へのアイデアを出し合っている。

立命館大学校友会東日本大震災復興支援金について

2015年11月1日～2016年1月31日に以下のみなさま方から復興支援金をお寄せいただきました。
ご協力いただきましたみなさまに心よりお礼を申し上げます。

■ 個人 (卒業年・50 音順) ※敬称略



個人情報保護のため、PDFではご協力いただいたみなさまのお名前を非表示としています。

※ 卒業年、学部・研究科名は、校友会に登録されている情報に基づき記載しています。なお複数の学部・研究科を卒業・修了されている場合は、最終歴を記載しています。

■ 団体・グループ・企業

■ 復興支援金・義援金 受付状況

技術士会

合計 20,309,471 円
(2016年1月31日現在)

個人 9,009 名 15,500,979 円
団体・グループ 190 件 4,808,492 円

復興支援金募集

復興支援特別委員会は今後の復興支援事業のあり方について東北三県（岩手県、宮城県、福島県）校友会と協議し、被災地校友会による復興に向けた取り組みのサポートを目的とした「復興支援金」の募集を進めています。現地校友会による復興活動を応援するために、引き続き校友の皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

※ 校友（個人）へのお見舞金とすることを目的とした「義援金」の受け付けは2013年7月31日をもって終了いたしました。

■ 受付方法

募集の期間や口数・金額等は定めておりません。

〈個人〉

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、氏名、卒業年、学部名を記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ S56 ケイザイ」

学部名の記入（入力）は、以下のとおりとしてください。

法学部＝ホウ	薬学部＝ヤク	映像学部＝エイソウ
経済学部＝ケイザイ	国際関係学部＝コク	理工学部＝リコウ
経営学部＝ケイエイ	文学部＝ブン	情報理工学部＝ジョウリ
産業社会学部＝サン	政策科学部＝セイサク	スポーツ健康科学部＝スポーツ

〈団体・グループ〉

振込み手続きの際には、振込み人名の欄に、団体・グループ名を記入（入力）してください。

〈芳名の公表〉

ご協力いただいた個人、団体・グループについては、芳名を、会報「りつめい」に掲載させていただきます。

匿名を希望される場合は、振込み手続きの際、振込み人名の欄に、氏名とともに「トクメイ」と記入（入力）してください。

例：「リツメイ タロウ トクメイ」

なお、この支援金募集に関わって、本会では領収証等の発行は行いません。予めご了承ください。ご不明な点がございましたら、立命館大学校友会事務局（フリーダイヤル 0120-252-094）までご連絡ください。

受付口座 1

京都銀行 二条駅前支店
(普) 1046732 (銀行コード 0158 / 店番コード 129)
口座名義：立命館大学校友会復興支援金口
同行本・支店間での振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

受付口座 2

京都中央信用金庫 三条支店
(普) 1206103 (銀行コード 1611 / 店番コード 006)
口座名義：立命館大学校友会復興支援金口
同金庫本・支店間での窓口利用振込の場合「復興支援金の振込である旨」お申し出いただくことにより手数料が無料となります。但し、窓口以外の振込（インターネットやATM等）の場合は手数料が発生します。

受付口座 3

みずほ銀行 京都中央支店
(普) 2405688 (銀行コード 0001 / 店番コード 473)
口座名義：立命館大学校友会復興支援金口
同行本支店間・みずほコーポレート銀行本支店からの振込みの場合、窓口・ATMともに振込手数料は無料となります。

受付口座 4

ゆうちょ銀行口座間の振替、窓口備え付けの「払込取扱票」をご利用の場合は以下へお願いいたします。
口座記号・口座番号：00950-8-164788
口座名義（加入者名）：立命館大学校友会
他行からの振込の場合は以下へお願いいたします。
ゆうちょ銀行 ○九九店 (当) 164788
(銀行コード 9900 / 店番コード 099)
口座名義：立命館大学校友会
※ 誠に恐れ入りますが、振込手数料についてはご負担をお願いいたします。



行事報告

2015年11月下旬～2016年2月中旬に行われた各団体の行事の一部を紹介しています。

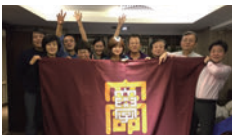
*詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumeijp>

都道府県校友会 / 海外校友会

12/5

北京校友会懇親会

11名 北京市内



1/23

北九州校友会 新年会

15名 晴れときどき魚



1/30

北海道校友会総会

70名 札幌アスペンホテル



1/30

マレーシア校友会総会

40名 クアラルンプール日本人会



1/31

サイゴン校友会懇親会

10名 SHGarden (ホーチミン市内)



2/2

ハノイ校友会総会

31名 DAIGO (ハノイ市内)



2/6

東京校友会総会

200名 明治記念会館



2/6

福井県校友会 ビジネス交流会

60名 ユアーズホテルフクイ

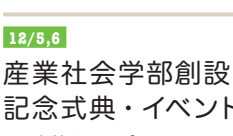


学部校友会

11/14

映像学部同窓会5周年記念企画

70名 秋葉原UDX



12/5,6

産業社会学部創設50周年記念式典・イベント

衣笠キャンパス



12/19

文学部西洋史学専攻同窓会総会

30名 創思館カンファレンスホール



地域校友会

1/23

静岡県校友会 遠州会 新春懇親パーティー

60名 ホテルクラウンパレス浜松



2/6

姫路立命会総会

56名 総社会館



職域校友会

11/21

朋命会総会

7名 中華料理「楽園」サンセット通り店



11/27

尼崎市役所比叡会総会

20名 都ホテルニューアルカイク



12/4

立命館関東不動産業交流会

21名 関西酒場らくだば



1/15

ひろぎん立命会総会

53名 むさし土橋店



1/16

建立会総会

150名 ヴィアアレ大阪



1/22

茨木市役所立命館大学校友会総会

15名 木曽路茨木店



1/24

立命館公認会計士校友会総会

立命館大阪いばらきキャンパス



1/29

石川県庁立命会

20名 大名茶屋



1/30

北朋会 (北海道教育関係者の集い) 総会

26名 ホテルライフオーツ札幌



2/3

三菱東京UFJ銀行立命館大学OB・OG会総会

55名 大東洋



その他

11/7

立命館大学コンクリート系の集い

62名 衣笠キャンパス



11/30

吉田寮校友会

34名 京都平安ホテル



「オール立命館校友大会2016 in 金沢」 10月29日(土)に開催!

- 総会・懇親会等 (*卒業10、30周年校友への記念品贈呈)
- JR金沢駅地下おもてなし広場での楽しいイベント
- 若手、女性校友対象企画、+R60 (60歳代以上対象企画)
- 金沢見学プチツアー などを予定

※変更となる可能性もございます。

今年の校友大会は、北陸新幹線開通で賑わう石川県金沢市で開催されます! 大会の詳細についての情報は、次号265号(6月下旬発行)および266号(9月下旬発行)、立命館大学校友会ホームページ特設サイト(公開予定)にて順次お知らせしますので、ご期待下さい! みなさん、歴史と文化が息づく街、金沢でお会いしましょう。海の幸と古都の美酒を、ぜひお楽しみ下さい。



オール立命館校友大会2015 in OICの様子

今後の行事予定

2016年4月～9月に予定されている総会です(判明分)

※詳しくは校友会ホームページをご覧ください
<http://alumni.ritsumeijp>

校友会・グループ	日程	会場	問い合わせ先	
会報読者の会	4月2日(土)	京都市内	校友会事務局	075(813)8216
出版立命会	4月3日(日)	平安女学院 M ホール・有栖館	大垣書店	075(468)1800
奈良県北部校友会 総会	5月15日(日)	ホテル日航奈良	寺田 惇	090(5971)9752
立命寄席	5月21日(土)	天満天神繁昌亭	校友会事務局	075(813)8216
ウリ同窓会 総会	6月4日(土)	東華菜館	白 吉雲	075(321)3355
宮城県校友会 総会	6月11日(土)	仙台ガーデンパレス	柏原 晋	022(286)9928
奈良県校友会 総会	6月11日(土)	奈良ロイヤルホテル	土田 次郎	0744(43)5043
三重県校友会 総会	6月12日(日)	プラザ洞津	山川 和俊	0596(28)5509
愛知県校友会東三河支部 総会	6月18日(土)	ホテルアソシア豊橋		
香川県校友会 総会	7月2日(土)	ホテルパールガーデン	穴吹 学	087(862)3565
山形県校友会 総会	7月3日(日)	ホテルキャッスル	三浦 孝治	023(624)0864
神奈川県校友会 総会	7月16日(土)	崎陽軒本店	野口 邦夫	080(6721)0071
秋田県校友会 総会	7月16日(土)	秋田ビューホテル	今野 謙	018(831)1250
山梨県校友会 総会	7月16日(土)	甲府ベルクラシック	久保田忠行	055(227)5136
岐阜県校友会 総会	7月23日(土)	ホテルグランヴェール岐山	房野麻紀子	0584(74)3036
大阪校友会年次 総会	9月10日(土)	大阪いばらきキャンパス	立命館大阪梅田キャンパス	06(6360)4895



後輩・母校の夢を応援する 「校友会未来人財育成基金」へ

立命館大学校友会は、信念をもとに、果敢に未来を切り拓こうとする後輩たちを応援しています。
今回は、立命館大学校友会の「未来人財育成基金」からの支援を受けた学生たちが、
東京校友会で自らの挑戦と目標について語った様子をご紹介します。

東京校友会総会

学生たちのチャレンジに 東京校友会でも拍手！

立命館大学の「+R個人奨励奨学金」は、正課での成績が良好であり、正課で学んだことを発展させていこうと活動する学生や、正課外の活動で優れた成果をおさめ、今後のさらなる高い成果の達成が期待される学生を励まし、支援することを目的とした制度です。校友会も2015年度から、未来人財育成基金の活用策として取り組んできました。

2月6日に明治記念館で開催された東京校友会総会では、この「+R個人奨励奨学金」を受けた学生の林俊之介さん（スポーツ健康科学部4回生）と田中伶奈さん（産社4）が、奨学金を受けてそれぞれどのような活動にチャレンジし、成長したかを報告。たくましい挑戦に、200人の参加者からは大きな拍手が送られていました。そして、東京校友会のRFS*、井辻秀剛さん（'84経営）は「未来人財育成基金がどのような形で活かされているかご認識いただけたらと思います。月に1回、母校の後輩にランチをごちそうするという感覚で、継続的な支援をお願いします」と呼びかけました。

*RFS…立命館未来サポーター（Ritsumeikan Future Supporter）各都道府県での未来人財育成基金の推進役



立命館大学の支援を受けて挑戦する学生たち



林 俊之介さん（スポーツ健康科学部4回生）

モータースポーツを支えるトレーナーを目指して

以前はプロ野球選手を目指していた林さん。肩の負傷をきっかけに選手としての道は諦めましたが、その時に出会ったのがトレーナーという存在でした。中でも、好きだったモータースポーツでもトレーナーが必要とされていることを知り、「ドライバーを支えるトレーナーになりたい」と思うようになります。「速さを追求するレーシングマシンは日々進化しているので、ドライバーの体には大きな負担がかかります。そこでドライバーの環境や問題を知り、それをもとにサポートすることが必要だと考えました」。ドライバーのケアを本格的に学ぼうとアメリカへの留学を考えましたが、チャレンジの壁となったのが語学力です。「いただいた奨学金をもとにフィリピンへ短期留学し、英語力を伸ばしたことでモータースポーツ分野のあるアメリカの大学へ進学を決めることができました。将来は米国公認アスレチックトレーナーの資格を取得し、夢を叶えてぜひ母校に、そして日本へ還元したいと思っています」。今年の秋には、留学のため渡米する林さん。夢への一歩を踏み出します。



田中伶奈さん（産社社会学部4回生）

日本酒づくりで地域を元気に

京都市右京区の京北地区。豊かな自然に恵まれる一方で、高齢化と過疎が問題になっています。「2回生の時に地元の資源を活用して京北の経済を活性化しようという“京北プロジェクト”を運営する景井ゼミと出会い、日本酒をつくる自主ゼミを新たに立ち上げました。それが、地域の農家や京北唯一の酒造会社、羽田酒造とともに、100パーセント京北産の日本酒を造る企画です。酒米を育て、職人さんと共に酒造りの過程に関わっただけでなく、ネーミングやラベルも考案しました」。活動を通じて住民から地域の文化や歴史を学び、京北のあたたかさに触れたという田中さん。「地域に人の輪をつくるのが、まちづくりになるのだと学びました」。卒業後は、京都のゲストハウス運営会社に就職し、京都の観光プランなどを手がける予定です。「これからは海外からの観光客に、日本の文化や食の魅力を知ってもらい仕掛けをつくりたいですね。京北での古民家体験や酒蔵を巡るツアーなど、もっと京北に人を呼びこみたいです」。卒業後も休日には京北でまちづくりに参加するため、忙しくも充実した日々になりそうです。



校友のみなさまへ

今回ご紹介した2人のように、立命館大学には様々な社会問題に着目し、自らの力で解決に向けて取り組もうとする学生たちがいます。学生たちのチャレンジと経験、そして成長は、社会を動かす原動力です。
みなさまからのご支援は、このように未来を切り拓こうとする母校の後輩たちの夢を後押しします。今後も、ぜひ後輩たちのさらなる挑戦と成長にご注目ください。

募集要項

1. 寄付の金額

- (1) 個人の場合／ひと口1,000円からご支援いただけます。
（継続的な寄付【毎月・毎年・年2回】をぜひお願いします）
- (2) 法人の場合／ひと口の金額は特に定めておりません。

2. 募集期間

期間に定めはありません。

3. 寄付の目標額（第1次活用プラン）

10億円（2012年10月1日～2020年3月31日）

4. 申込方法

① WEBで申込む

立命館大学校友会のホームページよりお申込みください。
簡単な手続きで完了いたします。
クレジットカードをはじめ銀行振込・コンビニ決済など多様な方法にてご寄付いただけます。

<http://gift2r.info>



←携帯電話からのアクセスはこちら！

※一部機種によってはご覧いただけない場合がございます。



② 書面で申込む

校友会事務局に資料をご請求ください。
銀行振込・口座振替にてご寄付いただけます。

5. 活用策

海外留学支援奨学金、成長支援奨学金、（+R個人奨励奨学金）、
課外活動支援、研究支援、施設整備支援

6. 税制上の優遇措置について

本寄付は立命館大学に対する寄付金であり、税制上の優遇措置を受けることができます。

お問合せ先

（受付時間：土日祝を除く9:30～17:00）

■ 校友会未来人財育成基金に関しては・・・立命館大学校友会事務局 075-813-8216
■ 寄付の受入れ、税制上の優遇措置に関しては・・・立命館 総務部 寄付事務局 075-813-8110

都道府県校友会・学部校友会 連絡先一覧

2016年2月現在

校友会本部役員

会 長	村上 健治	’70産社	前・大和ハウス工業(株) 代表取締役社長
副会長	飛鳥井雅和	’64法	(有) ASUKAI企画取締役
	高崎 秀夫	’67法	(株) 京都銀行代表取締役会長
	小野 守道	’69経営	(株) タクト相談役
	鮎井 憲	’69経済	(財) 南都経済研究所顧問
	福元 寅典	’72経済	前・(株) 南日本新聞社専務取締役
	松村 勝弘	’72院経営	立命館大学大学院経営管理研究科特別任用教授

副会長	林 幸雄	’73産社	(株) 電広エイジェンシー代表取締役社長
	佐藤友美子	’75文	追手門学院大学地域文化創造機構特別教授
	森川 典子	’81産社	ボツシュ (株) 取締役副社長
監 事	佐竹 力総	’70法	(株) 美濃吉代表取締役社長
	伊藤 昇	’71法	元・(学) 立命館総務部長
	鈴木 治一	’91法	植松・鈴木法律事務所弁護士

都道府県校友会

校 友 会 名	会 長 名	事 務 局		連絡先電話番号
立命館大学北海道校友会	千廣 隆章	006-0805	札幌市手稲区新発寒五条1-8-1 中川 均 様	011-251-3373
立命館大学東北北海道校友会	本田 公一	080-0802	帯広市東二条南4丁目10 菊池貞雄 様	090-6447-2969
立命館大学青森県校友会	水木 洋	030-0803	青森市安方1-5-17 船水重利 様	017-722-2926
立命館大学岩手県校友会	菊池 宏	020-0802	盛岡市つつじが丘7-3 酒井博忠 様	019-654-3893
立命館大学宮城県校友会	下村 泰雄	984-0831	仙台市若林区沖野4-5-20 柏原 晋 様	022-286-9928
立命館大学秋田県校友会	今野 謙	010-1436	秋田市大住2-4-19 今野 謙 様	018-831-1250
立命館大学山形県校友会	三浦 孝治	990-2324	山形市青田南8-2 三浦孝治 様	023-624-0864
立命館大学福島県校友会	桑原 勇健	963-8877	郡山市堂前町3-33 馬場幸蔵 様	024-922-4964
立命館大学茨城県校友会	木村 幸夫	310-0903	水戸市堀町2247-8 木村幸夫 様	029-252-8401
立命館大学栃木県校友会	笠原 朋雄	329-1104	宇都宮市下岡本町3792-4 笠原朋雄 様	028-673-1783
立命館大学群馬県校友会	石橋 博	370-3521	高崎市棟高町1802-409 石橋 博 様	027-372-8422
立命館大学埼玉県校友会	小玉 秀生	104-0041	東京都中央区新富1-16-8 エクセルアート(株) 内 榎本哲郎 様	03-3552-2201
立命館大学千葉県校友会	山口 富彌	274-0063	船橋市習志野台3-12-14-203 山口富彌 様	047-462-8029
立命館大学東京校友会	竹内美奈子	100-0005	千代田区丸の内1-7-12サピアタワー 8階 立命館東京キャンパス	03-5224-8188
立命館大学神奈川県校友会	野口 邦夫	230-0071	横浜市鶴見区駒岡1-10-E-304 社労士のぐちくにを事務所 野口邦夫 様	080-6721-0071
立命館大学新潟県校友会	小野 守通	950-0982	新潟市中央区堀之内南2-15-1 小畑正敏 様	025-247-2478
立命館大学富山県校友会	田村 哲朗	939-8212	富山市掛尾町198 福田 豊 様	076-425-3192
立命館大学石川県校友会	加納 裕	921-8103	金沢市つつじが丘107 木場密雄 様	076-243-5806
立命館大学福井県校友会	品谷 義雄	910-0024	福井市照手3丁目2-17 橋 誠一 様	0776-23-3542
立命館大学山梨県校友会	佐野 宣以	400-0065	甲府市貢川2-5-33 久保田忠行 様	055-227-5136
立命館大学長野県校友会	大槻 四郎	390-0822	松本市神田1-28-2 降幡信秀 様	0263-25-0279
立命館大学岐阜県校友会	鷺見 泰裕	503-0807	大垣市今宿4-32-1 (株) 大垣麵房内 房野麻紀子 様	0584-74-3036
立命館大学静岡県校友会	大場 勝	420-0882	静岡市葵区安東2丁目8-5 佐藤友清 様	054-245-5612
立命館大学愛知県校友会	伊藤 享司	457-0861	名古屋市南区明治1-4-21 株式会社あかのれん本部内 代表取締役社長 伊藤享司 様	052-692-6811
立命館大学三重県校友会	山川 和俊	516-0053	伊勢市中洲町1651-1 山川和俊 様	0596-28-5509
立命館大学滋賀県校友会	辻 淳夫	520-8686	大津市浜町1-38 (株) 滋賀銀行システム部 高津知仁 様	077-521-2440
立命館大学京都校友会	布垣 豊	604-8520	京都市中京区西ノ京朱雀町1 立命館大学 校友・父母課	075-813-8216
立命館大学大阪校友会	佐藤友美子	530-0018	大阪市北区小松原町2-4大阪富国生命ビル14階 立命館大阪梅田キャンパス	06-6360-4895
立命館大学兵庫県校友会	水田 宗人	658-0016	神戸市東灘区本山中町4丁目10番5号 伊藤四朗 様	078-451-7751
立命館大学奈良県校友会	鮎井 憲	633-0053	桜井市大字谷125-13 土田次郎 様	0744-43-5043
立命館大学和歌山県校友会	村上 長保	640-8222	和歌山市湊本町1-10-1-405 和田好史 様	073-432-7039
立命館大学鳥取県東部校友会	本多 達郎	680-0874	鳥取市叶122 西垣ビル (株) アド・ネットワーク内 西垣佳則 様	0857-30-0555

校 友 会 名	会 長 名	事 務 局		連絡先電話番号
立命館大学鳥取県西部校友会	秦 伊知郎	683-0037	米子市昭和町25-1 サンイン技術コンサルタント(株) 内 大野木昭夫 様	0859-32-3308
立命館大学島根県校友会	石倉 徳章	690-0007	松江市御手船場町572-2 和田裕之 様	0852-21-9907
立命館大学岡山県校友会	守屋 博司	700-0903	岡山市北区幸町7-14 天水 幸町店 守屋博司 様	086-232-0945
立命館大学広島県校友会	高面 治美	731-0138	広島市安佐南区祇園7-28-9-4 足羽真一 様	082-875-4526
立命館大学広島県東部校友会	小田 正己	720-0808	福山市昭和町6-1 福山電業(株) 島田 斉 様	084-922-6361
立命館大学山口県校友会	清弘 和毅	753-0043	山口市宮島町7-21 中村史朗 様	083-924-0283
立命館大学宇部小野田校友会	江本 郁夫	755-0027	宇部市港町1丁目11番30号 宇部市教育委員会港町庁舎 森島正信 様	0836-34-8604
立命館大学徳島県校友会	鎌田 啓三	770-0874	徳島市南沖洲2-7-33 鎌田啓三 様	088-664-2344
立命館大学香川県校友会	松浦 康隆	760-0071	高松市藤塚町2-12-15-404 穴吹 学 様	087-862-3565
立命館大学愛媛県校友会	松本 等	791-8022	松山市美沢1-1-19 石田二朗 様	089-925-2547
立命館大学高知県校友会	平井 雅章	781-5108	高知市潮見台1-3101 千蒲悦嗣 様	090-1322-5381
立命館大学福岡県校友会	清家 邦敏	816-0892	福岡市博多区東那珂3-6-62 大成印刷(株) 代表取締役社長 清家邦敏 様	092-472-2621
立命館大学北九州校友会	藤田 卓也	804-0025	北九州市戸畑区福柳木2-3-11 初村雅敬 様	093-882-9240
立命館大学佐賀県校友会	白武 悟	842-0051	神崎市千代田町黒井172 増田定次 様	0952-44-4248
立命館大学長崎県校友会	市原 正博	850-0037	長崎市金屋町4-5 (株) 長崎ガードシステム内 山口孝司 様	095-825-3795
立命館大学熊本県校友会	隈部 幸一	860-0971	熊本市中央区大江4-2-30-606 飯田俊之 様	090-1386-8809
立命館大学大分県校友会	直野 清光	870-0128	大分市森108-83 佐藤昌彦 様	097-521-5392
立命館大学宮崎県校友会	高橋 一身	880-0926	宮崎市月見ヶ丘5-1-1フォンテ月見ヶ丘三番館202 南 英輝 様	0985-44-1975
立命館大学鹿児島県校友会	前迫栄二郎	890-0053	鹿児島市中央町16-9 川窪栄一 様	099-253-3336
立命館大学沖縄県校友会	糸洲 昇	900-0005	那覇市天久2-28-23-203 島袋 健 様	090-7587-0858

学部・学系校友会

衣笠キャンパス 603-8577 京都市北区等持院北町56-1			
校 友 会 名	会 長 名	事 務 局	連絡先電話番号
立命館大学法学部同窓会	赤木 文生	法学部事務室内	075-465-8175
立命館大学文学部校友会	中小路宗隆	文学部事務室内	075-465-8187
立命館大学産業社会学部校友会	古谷 寛	産業社会学部事務室内	075-465-8185
立命館大学国際関係学部校友会	林 夏音	国際関係学部事務室内	075-465-1211
立命館大学映像学部同窓会	大矢 侑輝	映像学部事務室内	075-465-1990

大阪いばらきキャンパス 567-8570 大阪府茨木市岩倉町2-150			
校 友 会 名	会 長 名	事 務 局	連絡先電話番号
立命館大学経営学部校友会	奥田 直幸	経営学部事務室内	072-665-2090
立命館大学政策科学部同窓会	小原 弘己	政策科学部事務室内	072-665-2080

海外校友会 (順不同)

立命館大学北カリフォルニア校友会 立命館大学ロスアンジェルス校友会 立命館テキサス会 立命館大学シカゴ校友会 立命館ニューヨーク校友会	立命館大学バンクーバー校友会 立命館大学英国校友会 立命館大学ドイツ校友会 立命館大学インド校友会 立命館大学インドネシア校友会	立命館サイゴン校友会 立命館大学ハノイ校友会 立命館大学タイ王国校友会 立命館大学シンガポール校友会 立命館大学マレーシア校友会	在韓立命館大学同朋会 立命館大学台湾校友会 立命館大学香港校友会 立命館大学北京校友会 立命館大学上海広小路会	立命館大学広州校友会 立命館大学モンゴル校友会 立命館大学シドニー校友会 立命館大学マンマー校友会
---	--	--	---	--

証明書発行・施設利用連絡先

－立命館はご卒業後もあなたのそばに－

各種証明書の発行や施設利用、生涯学習支援についてご案内いたします。

用件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 など
各種証明書の申し込みについて	【衣笠キャンパス】 ◆ 法学部事務室 法学部／法学研究科 TEL.075-465-8175 ◆ 文学部事務室 文学部／文学研究科 TEL.075-465-8187 ◆ 産業社会学部事務室 産業社会学部／社会学研究科 TEL.075-465-8184 ◆ 国際関係学部事務室 国際関係学部／国際関係研究科 TEL.075-465-1211 ◆ 映像学部事務室 映像学部／映像研究科 TEL.075-465-1990 ◆ 独立研究科事務室 応用人間科学研究科 TEL.075-465-8375 先端総合学術研究科 TEL.075-465-8348 言語教育情報研究科 TEL.075-465-8363	卒業学部・研究科の事務室にお越しいただくか、封書でお申し込みください。直接お越しの際は、必ず身分証明書（運転免許証・健康保険証等）をご持参ください。郵送でお申し込みの際は、下記の必要事項を明記し、『発行手数料分の定額小為替または郵便切手』と『返信用封筒（切手を貼り、送り先を明記）』、身分証明書のコピーを同封のうえ、お送りください。なお、ご不明な点がございましたら、各学部事務室までお問い合わせください。
	【びわこ・くさつキャンパス】 ◆ 経済学部事務室 経済学部／経済学研究科 TEL.077-561-3940 ◆ スポーツ健康科学部事務室 スポーツ健康科学部／スポーツ健康科学研究科 TEL.077-561-3760 ◆ 理工学部事務室 理工学部／理工学研究科 TEL.077-561-2625 ◆ 情報理工学部事務室 情報理工学部／情報理工学研究科 TEL.077-561-5202 ◆ 生命科学部事務室 生命科学部／生命科学研究科・薬学部 TEL.077-561-5021 ◆ 薬学部事務室 薬学部／薬学研究科 TEL.077-561-5021	【必要事項】 ●氏名・フリガナ（英文申請時はローマ字も） ●卒業年月 ●卒業学部・学科・専攻 ●生年月日 ●郵送先（現住所） ●連絡先電話番号（昼間に連絡がとれる電話番号） ●利用目的（簡単に） ●申請される証明書の種類と枚数、和文／英文の別、厳封の有無。 （「学力に関する証明書（教員免許授与申請用）」を申請される場合は、本籍地と証明書の提出先もご記入ください） ●手数料の支払い方法と金額（「郵便切手600円分」など） ●身分証明書（コピー）の種類 【手数料】 ●卒業（修了）証明書、成績証明書、学力に関する証明書（教員免許授与申請用）、在学期間証明書（在学中に休学があった場合は、休学期間を含めて記載）、退学証明書:1通300円 ※英文証明書も同額です
	【大阪いばらきキャンパス】 ◆ 経営学部事務室 経営学部／経営学研究科 TEL.072-665-2090 ◆ 政策科学部事務室 政策科学部／政策科学研究科 TEL.072-665-2080 ◆ OIC独立研究科事務室 テクノロジー・マネジメント研究科 経営管理研究科 TEL.072-665-2100	【返信用封筒・郵送料の例】 ●証明書3通まで、厳封なしの場合:長型3号封筒に切手82円を貼付 ●証明書3通まで、厳封ありの場合:角型2号封筒に切手120円を貼付 そのほかご不明な点は、ご卒業の学部・研究科事務室にお問い合わせください。
	【朱雀キャンパス】 ◆ プロフェッショナルスクール事務室 法務研究科 TEL.075-813-8270 公務研究科 TEL.075-813-8274	
図書館の利用	◆ 衣笠図書館（3月18日閉館） TEL.075-465-8217 ◆ 平井嘉一郎記念図書館（衣笠キャンパス 4月1日開設） TEL.075-465-8217 ◆ メディアセンター（BKC） TEL.077-561-2634 ◆ メディアライブラリー（BKC） TEL.077-561-3943 ◆ 朱雀リサーチライブラリー TEL.075-813-8257 ◆ OICライブラリー TEL.072-665-2520	●利用登録申請が必要です。下記の必要書類をご用意のうえ、衣笠図書館 1階インフォメーションカウンター、メディアセンター 1階サービスカウンター、メディアライブラリー 2階サービスカウンター、朱雀リサーチライブラリーカウンターのいずれかで所定の手続きをお済ませください（土日に申請いただいた場合は、後日の発行となることがあります）。 ●申請は、閉館時刻の1時間前まで受け付けています。 ●開館日・開館時間は、ホームページにてご確認ください、お問い合わせください。 【申請にあたってご用意いただくもの】 1.次のいずれかの書類の原本（現住所の確認をさせていただきます）。 運転免許証・健康保険証・住民票の写し（発行後 1 カ月以内） 2.校友会会員証（終身会費納入証）（お持ちでない方は、図書館カウンターにお問い合わせください） 3.利用申請書（図書館所定用紙） 詳しくは図書館ホームページ http://www.ritsumei.ac.jp/library/koyu/ をご参照ください。

用件	窓 口	手 続 き、施 設 紹 介 など
キャンパスの利用 立命館東京	◆ 立命館東京キャンパス 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サビアタワー 8階 TEL.03-5224-8188 http://www.ritsumei.ac.jp/tokyocampus/	東京キャンパスは、企業の本社が集まる丸の内のJR東京駅日本橋口出口に直結するサビアタワー8階にあります。東京キャンパスでは、首都圏における本学学生の就職活動の支援や校友会活動の支援などを行っています。また校友に限らず社会人を対象にした公開講座も開講しています。詳しくはHPをご覧ください。 ※来訪には入館手続きが必要となりますので、お越しの際には事前にご連絡ください。 ※校友への各種証明書発行はしていません。
キャンパスの利用 立命館大阪梅田	◆ 立命館大阪梅田キャンパス 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階 就職活動関係 TEL.06-6360-4893 14階 公開講座等 TEL.06-6360-4895 5階 社会人大学院関係 TEL.06-6360-4892 http://www.ritsumei.ac.jp/osakaumedacampus/	立命館大阪梅田キャンパスは、社会人大学院（MBA、MOT、言語教育情報研究科）、一般公開講座を開講し、学生の就職活動支援や国際学術交流（立命館孔子学院大阪学堂および同済大学教育研究室を付設）などの事業を行っています。さらに、立命館大学大阪校友会・父母教育後援会の皆様への対応、入試情報の提供なども行っています。 ※校友への各種証明書発行はしていません。
末川記念会館の利用	◆ 末川記念会館 TEL.075-465-8234 http://www.ritsumei.ac.jp/mng/gl/suekawa/	末川博名誉総長の生前の書斎を復元したメモリアルルーム、京都地方裁判所から移設した貴重な「松本記念ホール陪審法廷」、故白川静名誉教授の研究成果をもとに、東洋文字文化の教育・普及および研究の振興を図る「白川静記念東洋文字文化研究所」、講義室・会議室（事前申込要）、レストラン「カラム」などがあり、1946年3月から行う「立命館土曜講座」は70年、3161回を数えています。研究会や講演会にご利用ください。
大学院への進学	◆ 各研究科の事務室 [TEL P.22参照] または ◆ 大学院課 TEL.075-465-8195 http://www.ritsumei.ac.jp/gr/	立命館大学大学院では、各研究科において積極的に社会人を受け入れ、多様な入試方式を用意しております。また、大学院の科目等履修生・聴講生制度もあります。入試説明会や模擬講義等も開催しておりますので、大学院への進学に興味のある方は、各研究科の事務室までお問い合わせください。 2017年4月 教職研究科（教職大学院）開設予定・設置認可申請予定（2016年3月現在）
エクステンションセンターの利用	◆ エクステンションセンター [衣笠] TEL.075-465-8172 [BKC] TEL.077-561-3942 [OIC] TEL.072-665-2120 http://www.ritsumei.ac.jp/extension/	エクステンションセンターでは、進路に直結する国家資格をはじめ、専門職・キャリアアップのための講座や、学科の特色を活かした多彩な講座を開講しています。立命館大学、立命館大学大学院、立命館アジア太平洋大学、立命館アジア太平洋大学大学院のいずれかを卒業、または修了している方は「エクステンションセンター校友特別受講制度」が適用されます。 【エクステンションセンター校友特別受講制度】 ● 制度内容 立命館が提携している専門機関で実施される特定の講座を受講する際、割引料金を適用する制度です。 ● 対象講座 司法試験、公認会計士、公務員、弁理士、税理士、司法書士、日商簿記1級を目指す試験対策講座。講座内容については事前にご確認ください。 ● 利用方法 エクステンションセンター窓口へお申し込みください。申込書はホームページからダウンロードできます。 ● 提携専門機関 辰巳法律研究所 http://www.tatsumi.co.jp/ 大原学園 http://www.o-hara.ac.jp/ TAC http://www.tac-school.co.jp/
	【衣笠】 国際平和ミュージアムロビー（1階および2階） ◆ 教育文化事業課 （国際平和ミュージアム1階） http://www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/	●火～日曜日 9:30 ～ 16:30 （休館：月曜日、祝日の場合は翌日。夏期および年末年始の休館期間ほか） ●2階ロビーに自販機設置（1 階ロビーでの飲食はご遠慮ください） ●国際平和ミュージアム常設展示等を無料でご見学いただけます。ご希望の方は1階国際平和ミュージアムオフィス窓口にお申し出ください。無料見学は、校友ご本人と同伴の若干名に限らせていただきます。
	【BKC】 コアステーション3階ラウンジ ◆ コアステーション1階BKC地域連携課	●月～土曜日 9:00 ～ 20:00（休室：日曜日、夏期および年末年始の休暇期間ほか） ●コーヒー等の自販機設置 ●ご用の際は、コアステーション 1 階BKC地域連携課へお越しください。 （執務時間：月～金曜日 9:00 ～ 17:30）
	【朱雀】 中川会館：6階校友ロビー ◆ 校友会事務局（朱雀キャンパス6階）	●月～金曜日 9:00 ～ 17:30（休室：土・日曜日、夏期および年末年始の休暇期間ほか） ●1階学園本部エリア受付にお申し出の上、6階校友会事務局にお声がけください。
	【OIC】 立命館いばらきフューチャープラザ1F	●月～土曜日 9:00 ～ 20:00（休室：日曜日、夏期および年末年始の休暇期間ほか） ●ご用の際は、8棟2階地域連携課へお越しください。（執務時間：月～金曜日 9:00 ～ 17:30）
校友サロンの利用	○いずれも事前申し込みは不要です。時間外の対応は致しかねますのでご了承ください。 ○衣笠およびBKCの校友サロンは、一般の方や教職員との共用スペースです。校友専用ではないことを何卒ご理解ください。 ○各サロンとも、校友団体の総会等、大勢でのご利用には適しません（おおむね1グループ10名以内でのご利用を想定しております）。 ○夏期および年末年始の休室期間のお問い合わせ、キャンパスマップのご請求等、詳細は校友会事務局へご連絡ください。 ○アクセスマップ http://www.ritsumei.ac.jp/accessmap/ 立命館大学校友会事務局（校友・父母課） http://alumni.ritsumei.jp/ TEL.075-813-8216 E-mail:alumni@st.ritsumei.ac.jp	

大学の業務日時	
通常の業務日時	月～金曜日 9時～ 17時30分
通常の休業日	土・日曜日、祝日、夏期・年末・年始休暇 ※図書館、国際平和ミュージアム等の休日は別途定めます。

住所等の変更ご連絡先	
立命館大学校友会事務局（校友・父母課）	TEL.075-813-8216 FAX.075-813-8217
住所変更専用フリーダイヤル	TEL.0120-252-094 FAX.0120-252-095
校友会ホームページからも変更可能です ▶ https://alumni.ritsumei.jp/procedure/entry/	

SPORTS スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-8167

アメリカンフットボール部 パンサーズ

甲子園ボウルを制覇 5年ぶり8度目の学生日本一を達成

(12月13日 阪神甲子園球場)



学生日本一に輝いたパンサーズ

アメリカンフットボールの大学日本一を決める「パナソニック杯第70回毎日甲子園ボウル」において、アメリカンフットボール部パンサーズが28-27の1点差で東日本代表の早稲田大学ビッグベアーズを下し、5年ぶり8度目の学生王者に返り咲きました。パンサーズは、第1クォーターから果敢に攻めRB長谷川航平さん(情理4)のタッチダウン(TD)で先制し勢いに乗りましたが、第2クォーター後半からは一転して相手の猛反撃を受け、第3クォーターには21-24と逆転を許す苦しい展開となりました。試合は、1点リードで迎えた残り3秒、早稲田大学にフィールドゴール決められれば逆転を許す場面となりましたが、キックは外れ、1点差でパンサーズが学生日本一のタイトルを手に入れました。なお、一人で219ヤードを獲得するなど活躍したRB西村七斗さん(スポ健2)が甲子園ボウル最優秀選手と年間最優秀選手(ミルズ杯)の2冠を獲得しました。この結果パンサーズは、2016年1月3日(日)に東京ドームで開催された「ブルデンシャル生命杯第69回ライスボール」での社会人王者パナソニックインパルス戦では、試合終盤で逆転するなど日本一まであと一歩に迫る素晴らしい戦いを見せましたが、19-22で惜しくも敗れました。来シーズンも日本一を目指すパンサーズの活躍が期待されます。



最優秀選手賞を獲得した西村さん

女子陸上競技部

3年連続駅伝2冠獲得 女子陸上競技部が富士山女子駅伝 3連覇を達成

(12月30日 静岡県富士市、富士宮市)

2015富士山女子駅伝(全日本大学女子選抜駅伝競走)において、女子陸上競技部が3連覇、全日本大学女子駅伝5連覇と合わせ、3年連続で駅伝2冠を獲得しました。試合は、1区で主将の菅野七虹さん(経営3)が2位以下を突き放す見事な走りで見事な区間賞を獲得すると、2区の池本愛さん(スポ健3)は区間記録に迫る快走でさらに差を広げていきました。独走状態となってからも、3区の和田優香里さん(スポ健2)、4区の太田琴菜さん(スポ健2)、5区の関紅葉さん(経済1)、6区加賀山恵奈さん(スポ健1)もペースを落とすことなくたすきを繋ぎ、最終7区の園田聖子さん(経済3)も持ち味である粘り強く安定した走りでもトップの座を明け渡すことなく、2013年の大会記録に2秒差に迫る2時間21分50秒の好タイムでゴールテープを切りました。選手たちは約80名もの地元静岡県校友会有志による熱烈な応援を背に受け、全7区のうち5区で区間賞を獲得しました。



ゴールテープを切る園田さん

各走者の結果

- ◆第1区 菅野 七虹さん
20分19秒 区間賞
- ◆第2区 池本 愛さん
10分49秒 区間賞
- ◆第3区 和田 優香里さん
14分06秒 区間賞
- ◆第4区 太田 琴菜さん
30分03秒 区間賞
- ◆第5区 関 紅葉さん
15分55秒
- ◆第6区 加賀山 恵奈さん
22分08秒 区間賞
- ◆第7区 園田 聖子さん
28分30秒



3年連続駅伝2冠を獲得した女子陸上競技部のみなさん

ホッケー部

オーストラリア国立大学と 国際親善試合を開催

(12月5日 大阪いばらきキャンパス)

大阪いばらきキャンパス開設記念として、立命館大学ホッケー部がオーストラリア国立大学(ANU)と国際親善試合を開催しました。ANUのセンターパスにより試合開始。立命館大学がチャンスを作るものの、両者譲らず第1クォーターは終了しました。第2クォーターでは6分に立命館大学が先制し、第3クォーターでは2分にPC(ペナルティコーナー)から2点目を追加。さらに第4クォーターでも3点目を決め、試合は立命館大学が3-0で勝利しました。2014年に連携・共同に関する覚書を締結し、「共同学士課程」の設立に向けた協議を進めている両大学。今回の親善試合を契機に、学生同士の交流が深まることが期待されます。



試合の様子



学生間でも絆が深まった両校

CULTURE/ART 文化・芸術

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

交響楽団

創立60周年を記念して東京公演を開催 (12月6日 東京のすみだトリフォニーホール)



立命館大学公響楽団が、創立60周年記念第114回定期演奏会「東京公演」を開催しました。単独では初の東京公演に、校友、交響楽団OB・OGの他、1,066名もの観客が集まりました。指揮には交響楽団のオケストラアドバイザーである阪哲朗氏を、また、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 チェロ奏者のヘーデンボルグ・直樹氏をお招きし、豪華なゲストと学生との共演が実現、演奏後、観客からはブラボーの声とスタンディングオベーション、温かい拍手が寄せられました。2005年の50周年以降、「地域に根ざした交響楽団」「日本一の学生オーケストラ」を目指して歩んできた立命館大学交響楽団。海外公演も視野においた新しい活動が期待されます。

バトントワリング部

バトントワリング全国大会 オープンの部で優勝

(12月13日 千葉県幕張メッセ・イベントホール)



バトントワリング部のみなさん

第43回バトントワリング全国大会・オープンの部において、バトントワリング部「立命館バトンチーム」が、9度目のグランプリ、内閣総理大臣賞を獲得しました。1ヶ月前に行われた関西大会では第2位の成績で全国大会

に進んだ立命館バトンチームでしたが、演技構成を修正して、ジョン・レノン「イマジン」のテーマ曲に乗って見事な演技で観客を魅了し、関西で敗れたライバルチームに全国で雪辱を果たす優勝となりました。バトントワリング部は、8月にカナダで開催されたインターナショナルカップでの金メダルでチーム世界一、そして今回の全国大会優勝と国内外でめざましい活躍を見せてくれました。

囲碁研究部

全日本大学囲碁選手権で 3年ぶり6回目の優勝

(12月23～26日 東京 日本棋院本院)



3年ぶりに全国を制した囲碁研究部

第59回全日本大学囲碁選手権大会において、囲碁研究部が3年ぶり23回目の優勝を果たしました。各地区の代表8大学が5人編成で戦う総当たりリーグで優勝が争われる同大会。前回、前々回は準優勝と、優勝まであと一歩という成績が続いていましたが、今回は、毎年優勝を争っている岡山大学や2年連統同大会で優勝した早稲田大学に代わって出場した慶應義塾大学にも勝利し、見事全勝で同大会3年ぶり6回目の優勝を果たしました。個人では、杉田俊太郎さん(理工1)、塚田花梨さん(産社2)が全勝賞を獲得するなど、活躍を見せました。

かるた会

かるた会の学生が立命館慶祥中学校の かるた大会に参加

(1月29日 立命館慶祥中学校)

立命館慶祥中学校第16回百人一首大会が2016年1月29日に開催され、かるた会(以下、かるた会)の学生3名が、中学生の前で競技かるたを披露しました。古人が詠んだ一首一首に想いを馳せながら、中学生たちは真剣勝負を繰り広げ、かるた会の学生たちも中学生たちがかるたを楽しむ姿を見ながら、熱心に指導を行っていました。大会の最後には、かるた会の学生が中学生の前で実践形式に

よる競技かるたを披露し、張り詰めた空気の中、全国トップレベルのスピードに驚きの声が聞かれました。



全国屈指の実力を披露したかるた会

CAMPUS ACTIVITIES 学生活動

問い合わせ先：学生オフィス
075-465-8167

びわこ・くさつキャンパス フロンティア アベニュー アートギャラリーの展示を開始

(1月 びわこ・くさつキャンパス)

2015年6月から、びわこ・くさつキャンパス(BKC)において、スポーツ健康commons(仮称)※1の新築工事が開始されました。施工期間中、施設敷地の周囲は仮囲いのフェンスで覆われていますが、この仮囲いの一部はフロンティアアベニュー(正門からのキャンパス内へ向かう歩行者専用道路)に面しています。そこで、スポーツ健康commons(仮称)のコンセプト※2をイメージできるよう、作品展示の場「フロンティアアベニュー アートギャラリー」とすることになりました。美術研究部、琵琶湖漫画研究会(RBM)、写真部、書道部、写真研究会の5団体の作品と、BKC近隣の草津市立志津南小学校の児童による絵画作品の展示を行っています。

※1：アリーナ・プールなどを主たる用途とし、学生・教職員・父母・校友・地域住民等のスポーツ・健康づくりを通して、交流・連携を図る場所となります。

※2：「人々の心身の健康」「人と自然、またアクティブとリラックスの調和」「地域社会を巻き込んだ人々の交流・連携」。



BKCでご覧いただけます

衣笠キャンパスに 「平井嘉一郎記念図書館」が開設

半世紀近くにわたり衣笠キャンパスで学生の学びを支えてきた図書館が、2016年4月、新たなアカデミックシンボル「平井嘉一郎記念図書館」に生まれ変わります。立命館大学の図書館では「学びが見える、学びに触れる、学びあえる」図書館を目指し、これまでも学生どうしがディスカッションやプレゼンテーションを通じて主体的に学び合い、成長できる空間を展開してきました。新しい「平井嘉一郎記念図書館」ではこのビジョンを継承しつつ、学びのコミュニティの中心拠点として、また学生から愛され続ける図書館として大きく発展していくことが期待されています。

※「平井嘉一郎記念図書館」は立命館名誉館費である平井嘉一郎様のご遺志をくまれ、ご令室の名誉館費・平井信子様からご寄付をいただき整備した図書館です。

※校友のみなさまの図書館利用の詳細につきましては、22ページをご参照ください。



平井嘉一郎記念図書館

日本・インド・イノベーション・セミナーで 吉田総長が報告

12月11日（金）、インドのニューデリーにおいて日本・インド・イノベーション・セミナー（主催：独立行政法人日本貿易振興機構（JETRO））が開催され、日印両国の経済界や学術関係者らが出席しました。この中で吉田美喜夫・学校法人立命館総長は、日本とインドの科学技術協力について講演を行いました。立命館大学は、2010年に日本の大学として最初にニューデリーにオフィスを開設し、これを「海外共同利用事務所」と位置づけ、オールジャパンによる日印の学生交流や教育・研究発展に貢献してきました。吉田総長は、その実績を踏まえた上で、「インドの高い科学技術をいっそう高めることにつながる、総合マネジメント・プロデュース力を発揮する人材が望まれる」と力説しました。そ

して、立命館アジア太平洋大学と立命館大学を有する学校法人立命館として、「大学を核にした日印教育・研究プラットフォーム」を形成することを提案。日印両国政府・産業界および大学研究機関も含めた課題解決型の研究プラットフォームの形成に立命館がかかわることにより、日印両国の成長に寄与できる人材を育成できるとの決意を表明しました。



壇上で講演する吉田総長

京丹後市と連携・協力に関する 包括協定を締結

12月17日（木）、立命館大学と京丹後市は、地域連携分野をはじめ、産業振興、まちづくり、ひとづくりに共同して取り組み、地域・大学を核とした交流を推進するため、連携・協力に関する包括協定を締結しました。本協定は、京丹後市と立命館大学が包括的な連携のもと、産業、教育・文化、健康・福祉、まちづくりなどの分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的としており、包括協定を契機に、多様な連携・協働の取り組みを進めていきます。今後も付加価値のある農産品の研究・開発をはじめ、京丹後市の土壌分析、土壌改良などの研究推進・協力、「京丹後市夢まち創り大学」を活用したフィールドワークやアクティブラーニング、市民向けの公開講座の開催などさまざまな取り組みが計画されています。



中山 泰・京丹後市長（写真左）と吉田 美喜夫・立命館大学長（写真右）

福島のことを知り、感じ、考える 大阪いばらきキャンパスで復興支援イベント 「ふくしまのことを語ろう」を開催

12月20日（日）、大阪いばらきキャンパスで「ふくしまのことを語ろう」と題して復興支援イベントを開催しました。今回のイベントは、多くの人に福島のことを知り、感じ、考える1日を過ごしてもらおうと立命館災害復興支援室と福島県が共同で企画したもので、学生や地域住民、福島県に縁のある方など約180人が参加しました。福島県の魅力を紹介するパネル展示のほか、福島を題材とした映画「物置のピアノ」の上映会、福島のことを伝えるトークショー、福島での復興活動に参加した学生による活動報告などが行われました。また、会場では、福島米「天のつぶ」や100%果汁の桃のジュース、楡葉町の郷土料理「マミーすいとん」などがふるまわれました。



郷土料理がふるまわれる様子

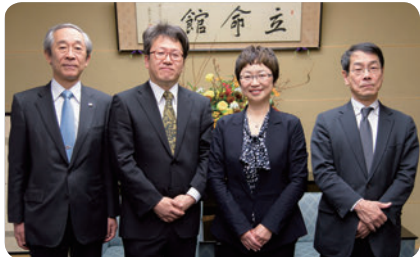


トークショーの様子

松田亮三・産業社会学部教授と松原洋子・ 先端総合学術研究科教授が日本学術 振興会の審査員表彰<科研費>を受賞

このたび、松田亮三・産業社会学部教授と松原洋子・先端総合学術研究科教授が、日本学術振興会の審査員表彰<科研費>の表彰を受けました。日本学術振興会は、学術研究の振興を目的とした科研費の業務を行っており、適正・公平な配分審査に努めています。科研費

の配分審査は、専門的見地から第1段階審査（書面審査）と第2段階審査（合議審査）の2段階で行われており、その審査の質を高めることが重要視され、審査終了後には、審査の検証が行われています。その検証結果にもとづき、第2段階審査（合議審査）に有意義な審査意見を付した第1段階審査（書面審査）委員を選考し、表彰しています。本表彰は約5,500名の第1段階審査委員の中から189名が選考されています。松田教授は医療社会学（審査細目）の書面審査を、松原教授は科学社会学・科学技術史（審査細目）の書面審査を担当されました。



松田教授（左から二番目）と松原教授（左から三番目）が吉田総長（左から一番目）、渡辺公三・学校法人立命館副総長（左から四番目）に受賞報告を行いました。

立命館グローバル・イノベーション研究 機構「年縞を軸とした環太平洋文明研究 拠点」九州・佐賀シンポジウムを開催

1月9日（土）・10日（日）、アバンセ（佐賀県佐賀市）において、立命館大学環太平洋文明研究センターの主催によるシンポジウム『東シナ海と稲作漁撈・弥生文化』を開催し、多くの方にご参加いただきました。環太平洋文明研究センターは、環境と文明のあり方を根本から問い直すこと、環太平洋地域の環境と文明の興亡を解明することを目的に2013年に設立されました。2014年3月の函館と同年12月の宗像でのシンポジウムに続き、吉野ヶ里遺跡を有する佐賀の地での開催となりました。2日間にわたって行わ



会場の様子

れたシンポジウムの1日目は、従来の稲作起源説を覆した菜畑遺跡の水田跡をはじめ、朝鮮半島や中国を経由してきた稲作のルーツ、吉野ヶ里遺跡発掘の歴史等についての講演があり、2日目は、基調講演の後、「九州と長江文明」についてパネルディスカッションが行われました。

経営学部の学生チームが日本最大級の 学生ビジネスコンテスト大阪地区で 最優秀賞を受賞

1月19日（火）、日本の次代を担う若者の人材育成と新産業の創造を目的とする日本最大級の学生ビジネスコンテストのひとつ「第17回cvg大阪大会」の表彰式が、ANAクラウンプラザホテル大阪（大阪市北区）で催され、経営学部の芳本大樹さん（経営4）らのチームがビジネス部門最優秀賞を受賞しました。芳本さんらは、超高齢化社会の問題となっている認知症患者の増加を食い止めるための認知症予防アプリケーションの開発と、ICTを利用した認知症予防教室『まなびや』などを展開するビジネスモデルとして提案しました。この結果を受けて、3月10日（木）に東京・霞山会館（千代田区霞が関）にて行われた全国大会への出場も果たしました。



最優秀賞を授与された芳本さん

三重県と就職支援に関する協定を締結

2月8日（月）、立命館大学は三重県と就職支援に関する協定を締結しました。三重県が大学と就職支援の協定を締結するのは本学が初めてとなります。この協定により、三重県で就職を希望する学生に対して、インターンシップ機会の増大、企業・行政機関などの採用情報やセミナー・採用説明会など各種就職支援イベントに関する情報を提供するなど、U・Iターン就職支援・促進に向けた取り組みを三重県と連携して行います。協定締結には、

鈴木英敬・三重県知事、吉田美喜夫・立命館大学学長が出席し、固い握手の下、協定を締結しました。



握手をする鈴木知事（写真右）と吉田学長（写真左）

産業社会学部・京北プロジェクト （景井ゼミ）が京北地域の町おこし ソウルフード『納豆もち』を復活させ、 地域の新しいブランド商品へ

産業社会学部の京北プロジェクト（景井充教授ゼミ）の学生6人が、京都市右京区の京北地域の伝統食「納豆もち」を復活させようと、農業生産法人「山国さきがけセンター」と共同で、100%京北産の素材にこだわった新商品「京北・杣人（そまびと）の里『納豆もち』」を開発しました。納豆もちは、塩で味付けした納豆を餅で包んだもので、京北地域では正月三が日に雑煮の代わりに食べられている郷土料理。京北プロジェクト（景井ゼミ）では、2008年から、京北地域の地域資源の発掘とその活用方法を提案することで、地域経済活動をプロデュースするプロジェクトに取り組んでいます。今回は、納豆の発祥地とのいわれがある京北の納豆文化をより広く発信し、併せて第6次産業の一翼を担うために、これまで地域の人にしか食べられていなかった納豆もちに注目し、ブランド商品を開発しました。



今回商品化された「京北・杣人の里『納豆もち』」

立命館大阪梅田キャンパス 2016年度 公開講座のご案内

大阪・京都文化講座（前期）

京都・大阪の「祭礼」再考 ―その祝祭的・非日常的イベントはどのように変貌をとげてきたか―

●コーディネーター 立命館大学文学部教授 藤巻 正己／大阪大学大学院文学研究科教授 和田 章男

	開催日	講師名	講演タイトル	受講料
1	5/16 (月)	片平 博文 (立命館大学文学部 特任教授)	平安京の祭礼と人びとの自然観	1回 1,500 円 7回以上一括申込の場合、10,000 円
2	5/23 (月)	中尾 薫 (大阪大学大学院文学研究科 准教授)	演劇と祭礼―日本芸能史の源流をめぐる諸説再考―	
3	5/30 (月)	中本 大 (立命館大学文学部 教授)	祇園祭はいかにして京都を代表する祭りになったのか	
4	6/6 (月)	古後 奈緒子 (大阪大学大学院文学研究科 助教)	神楽舞の魅力	
5	6/13 (月)	三枝 暁子 (立命館大学文学部 准教授)	京都西之京の天神信仰―ずいき祭の歴史をめぐって―	
6	6/20 (月)	吉村 旭輝 (和歌山大学紀州経済史文化史研究所 特任准教授)	だんじりや太鼓台の都市祭礼からみる大阪の文化圏	
7	6/27 (月)	遠藤 英樹 (立命館大学文学部 教授)	旅する (travelling) 祭り―高知、札幌から京都、大阪へ―	
8	7/4 (月)	川村 邦光 (大阪大学大学院文学研究科 教授)	地蔵盆と子供たち	

木津川 計 講座 (『上方芸能』発行人、元立命館大学教授)

木津川計の一人語り劇場

	開催日	講演タイトル	受講料
1	4/22 (金)	「番町血屋敷」異聞	1回 1,500 円 全6回一括申込の場合、7,500 円
2	6/24 (金)	私は貝になりたい	
3	8/26 (金)	「曾根崎心中」以後	
4	10/28 (金)	菊池寛と語り文化の可能性	
5	12/9 (金)	屋上の狂人	
6	2017年2/24 (金)	「生きる」これから	

会場 ▶ 立命館大阪梅田キャンパス (大阪富国生命ビル5階)
時間 ▶ 14:00～15:40 (講演90分、質疑応答10分)
定員 ▶ 各回130名【先着順】 ※事前申込
定員になり次第締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。
※詳細は立命館大阪梅田キャンパスホームページをご覧ください。
<http://www.ritsumeai.ac.jp/osakamedacampus/> (講座情報は3月下旬更新予定)

安斎 育郎 講座 (立命館大学名誉教授、安斎科学・平和事務所所長)

安斎育郎が語る、俳句・俳人とその時代

	開催日	講演タイトル	受講料
1	5/10 (火)	松尾芭蕉・与謝蕪村・小林一茶	1回 1,500 円 全6回一括申込の場合、7,500 円
2	7/12 (火)	正岡子規・高浜虚子・飯田蛇笏	
3	9/13 (火)	河東碧梧桐・種田山頭火・尾崎放哉	
4	11/8 (火)	片山桃史・西東三鬼・渡辺白泉	
5	2017年1/17 (火)	金子兜太・山本素竹	
6	2017年3/14 (火)	50回目を迎える原爆忌全国俳句大会	

お申込方法：下記お問い合わせ先へ『受講申込書』をご請求ください。

お申込先 お問い合わせ先	立命館大阪梅田キャンパス 公開講座事務局 (開室時間：月～金 9:00～17:30／休祝日除く) ※土日閉室 〒530-0018 大阪市北区小松原町2-4 大阪富国生命ビル14階 TEL:06-6360-4895 FAX:06-6360-4894 E-mail: osaka-kz@st.ritsumeai.ac.jp
-----------------	---

立命館東京キャンパス 2016年度 公開講座のご案内

講座名	開催日時		詳細
立命館孔子学院東京学堂 中国語講座	コースによって異なります	火曜日～金曜日 18:30-20:00	http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/cc/confucius/index.html
「金融と法」東京講座	前期：4/9～7/30 後期：9/16～12/10	水・金曜日 18:30-21:40 土曜日 13:00-17:50	※不定期に月曜日・火曜日に開講
「WSJで学ぶ金融英語実践講座 2016」	5/18、6/15、7/13、8/24、9/14、 10/19、11/16、12/14、1/11、 2/15、3/15	毎月水曜日 19:00-20:30	http://jp.wsj.com/sp/seminar/english/
第10回税法連続公開東京講座	8/20、8/27、9/3、9/10、9/24	土曜日 13:30-16:45	http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/re/k-rsc/ft/
立命館西園寺塾	2016年4月～2016年1月 予定	土曜日 13:00-17:00	http://www.ritsumeai.ac.jp/saionji-juku/
Jリーグ・立命館JHC教育・研修コース (基礎) 2016-2017	2016年4月～2017年3月 予定	火曜日・木曜日 19:15-21:45	※不定期に土曜日・日曜日に開講 ※夏期集中の開講、一部オンデマンド授業あり
実学！アグリビジネス大学 (第5期) ～食・農・地域活性化～	2016年5月～10月 予定	土曜日	http://www.ritsumeai.ac.jp/gsir/

ご確認方法



講座の詳細は下記ホームページでご確認ください。
その他開講予定の講座は下記ホームページに随時掲載いたします。
http://www.ritsumeai.ac.jp/tokyocampus/course_guide/

お問い合わせ先

立命館東京キャンパス
TEL：03-5224-8188



「勝つべくして勝った」
必然の学生日本一

アメリカンフットボール部

パンサーズ前主将

田辺 大介 さん (経済学部4回生)

5年ぶり8度目の学生日本一を掴み取ったアメリカンフットボール部パンサーズ。最後の最後まで勝負の行方がわからなかった関西学生アメリカンフットボールリーグ最終節の関西学院大学戦、そして1点差で勝利した甲子園ボウルの早稲田大学戦。運を味方に付け、紙一重の差で勝利を重ねてきたようにも見えるが、そうではない。主将の田辺さんから話を聴いて、僅差の試合で次々と勝利して勝ち取った学生日本一のタイトルは、チームの意識改革、そして地道な努力の積み重ねがもたらした必然の結果との思いを強くした。

新チームとなった春シーズン。主将として挑んだ試合で、関西大学と早稲田大学に敗戦。特にベストメンバーで臨んだ早稲田大学からは1点も取れず、0対24と力の差を見せつけられた。「8月から始まるシーズンまで時間がないという思いしかありませんでした」と当時の気持ちを語ってくれた。

日本一になるためには何をすべきか。田辺さんが取り組んだのは、学年に関わらず、全体から意見を引き出し、チーム運営に反映させる学生中心のチーム作り。

「それぞれの部員が疑問を感じながら付いていくのではなく、チームの方向性に『共感』することが大事だと感じていました」とチーム作りの方法論を語ってくれた田辺さん。強いリーダーに黙って従うのではなく、部員一人ひとりが、日本一になるためには、強くなるためには何が必要かを考え、学年に関係なく、意見を出し合い、徹底して議論する。主将をはじめとしたチームのリーダーは、部員から吸い上げ



学生日本一の勝利を喜ぶ選手たち

た意見を参考に、監督・コーチと議論を重ねる。こうした過程を経て出来上がったチームの方針は「共感」を得ていく。そして、個々の部員に「自分がチームを作る」という自覚を促し、「絶対に日本一になる」という執念

とも言える意識をチームに浸透させた。こうしたチーム作りを基礎に、秋のリーグ戦までの期間、体力強化や基礎的な練習に一切妥協せず取り組んだパンサーズは、秋のリーグ戦を制し、学生日本一への道を走り抜けた。

こうした意識改革は競技面だけに留まらない。パンサーズはチームのゴールとして「日本一になること」、「尊敬され、支援されるチームになること」、「立命館大学生として成長する」という3つのスローガンを掲げている。練習を理由にして学業がおろそかにならないよう、1、2限の開始前に、びわこ・くさつキャンパスの噴水前に集合して授業に出席する取り組みも始め、選手の学生としての成長にも力を入れた。

僅差の勝負を制し、学生日本一のタイトルを獲得することができたのは、偶然ではない。チーム作りを一から見直し、「日本一になる」という想いを日本で一番強く、チーム全体で共有することにより、勝利を手繰り寄せ、まさに「勝つべくして勝った」といえるのではないだろうか。学生代表として社会人代表と戦ったライスボウル。試合には敗れたものの、試合終盤で一時は逆転し、社会人王者をああと一歩のところまで追い詰める見事な戦いを見せてくれたパンサーズ。「校友のみなさんをはじめとした大歓声を東京ドームで聴いた時、震えるほど感動しました。応援ありがとうございました」と語ってくれた田辺さん。全力を尽くして、悔いは全くないという。このチームは強い。さらに強くなる。来シーズンもパンサーズから目が離せそうもない。



優勝カップを掲げる田辺さん (左から2番目)

校 友 消 息 (判 明 分)

就 任		就 任		
井上公大氏 本学元教授 2015年7月30日 ご逝去 83歳	高橋宗治郎氏 学校法人立命館 館友 2015年12月26日 ご逝去 88歳	石田誠司氏 (’90 法)	中村敏夫氏 (’71 経営)	和田孝雄氏 (’86 法)
		株式会社IDC フロンティア 代表取締役社長 2016年4月1日就任予定	株式会社アスラポート・ダイニング 代表取締役社長 2016年2月23日就任	テンプスタッフ株式会社 代表取締役社長 2016年4月1日就任予定
村山嘉彦氏 本学元教授 2015年11月29日 ご逝去 78歳		鯉坂司郎氏 (’78 経済)	高橋祥二郎氏 (’79 経済)	
		株式会社タムロン 代表取締役社長 2016年3月30日就任予定	株式会社滋賀銀行 代表取締役頭取 2016年4月1日就任予定	

BOOKS (寄 贈 図 書)

◆中島克幸氏 (’85 法) 著 『刻まれたドラマを訪ねて 東京の記念碑・像めぐり』 文芸社 ＊1500円＋税	◆新道慶治氏 (’82 産社) 監修 『生活給から考える給与体系』 東京図書出版 ＊1200円＋税	◆高橋 晃氏 (’59 理工) 著 『Himalaya 紀行Ⅲ Paradise found』 フルブリッジ
---	---	--

TOPIC01 / アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼント実施中！

会報のご愛読、いつもありがとうございます。
校友会事務局では、これからもより充実した会報をみなさまにお届けするためアンケートを実施しています。ご協力いただいた方の中から抽選でオリジナルグッズをプレゼントしますので、ぜひご応募ください！
(当選者の発表は、景品の発送をもって代えさせていただきます。)

アンケート方法
① 携帯電話、スマートフォンで簡単アクセス！
② 校友会HP トップページ のバナーをクリックしてアクセス！



TOPIC02 / 会報りつめい読者の会について

前号でお知らせした4月2日開催予定の「会報りつめい読者の会」へ、たくさんのご応募誠にありがとうございました。抽選の上、当選者の方にはメールにてご連絡させていただいております。

4月から、アメリカのNPO「イノセンス・プロジェクト」の日本版として、「えん罪救済センター」が立命館大学を拠点として発足します。有罪の決め手となったDNAなどの科学鑑定や、自白の信用性を大学教授などが再検証し、再審請求を支援していこうという専門家の組織だそうです。近年でも最新のDNA鑑定で再審で無罪になったり、虚偽の自白をさせられるケースもあります。えん罪事件など一般の人には関係のない出来事のようにですが、痴漢えん罪の外、防犯カメラの時刻設定の誤差でアリバイを否定されたり、p cの遠隔操作やアカウントのなりすましなど、誰にでも起こりうる話です。多くの専門家の協力で再審の道が開かれ、一人でも多くのえん罪被害者が救済されるよう、願ってやみません。(K)

春は出会いの季節でもあり、別れの季節でもある。引越、入社、異動、退職など、人生の大きなイベントを控え、喜び、期待、不安などの気持ちを胸に抱きながら、新しい季節を迎えられる校友の皆様も多いのではないか。立命館大学でも、間もなく卒業式を迎え、桜の咲く頃には新入生を迎え入れる。この春、2015年度開設の大阪いばらきキャンパス (OIC) に「総合心理学部」が誕生する。日本最大級の心理系学部で心理学を総合的に学ぼうと志願した1期生も、おそらく同様の心境に違いない。新たな環境は、馴染むまで苦労が多い反面、新しい自分や人との出会いに恵まれ、成長できるチャンスでもある。新入生が、自らの手で新しいドアを開き、様々なことにチャレンジすることを願う。(加藤良直)

「チャーアア!」。デビュー 40 周年、全国還暦記念コンサートのギタリスト・Char の大阪公演で、絶叫する。会場を埋め尽くしたファンは同年輩の男子やカップルが多い。で、わたしもカンレキ。ライブで刺激と元気をもらう。年明けから、韓国、出雲、京都と取材が続いている。国宝指定された松江城では、“ちどり娘”なる歴女の観光ボランティアが登場。毎年恒例の京都冬の旅も今年で 50 年目を迎え大学生選抜観光ボランティアさんたちが活躍中だ。ここ数年は偶然、母校の学生が担当で、校友の先輩として、取材現場での質問も、熱がはいる。「がんばりやあ」と心でエールを送る。ああ、私もこんな学生時代があったんやあ。私の還暦記念、いまだ決まらず。(高橋英子)

今年の正月も硬式野球部の必勝祈願を行った。昨秋奉務先は、21 年に一度の式年遷宮であったが、その奉祝期間中、硬式野球部の桜井選手が巨人ドラフト一位指名を受けるという嬉しいニュースを聞かせてもらった。このニュースは目に見えた成果として21年に一度のお祝いの気分を更に盛り上げさせてくれた。こういうコツコツと積み重ねた事が広く社会に花開く事は、母校では伝統であることに気づかせていただいたのが現在放送されている朝の連続テレビ小説である。ここには、立命館の基礎を固められた中川小十郎のモデルが描かれている。あの時も激動の変革の時代。今もまさに変革の過渡期といえよう。母校を巣立つ卒業生は、諸先輩が踏み行った道をたよりに社会の大海原に是非挑んでほしい。(乾)

編集室から

BOOKS FOR BOOKS ～立命館の本活～

2013 年 4 月～2015 年 12 月末までに **2,209 名**の方から **131,976 冊**の本をお送りいただきました。誠にありがとうございます。
引き続き、校友の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

💬 どのような仕組みですか？

💬 以下の本は取り扱えませんのでご了承ください。
● ISBN のない本
● 百科事典 ● コンビニコミック ● 個人出版の本
● マンガ雑誌 ● 一般雑誌
※上記の本が混入していても、費用の負担などは生じません。



💬 手続きの方法は？

① 書籍を段ボール箱に入れる。
② 電話 (バリューブックス 0120-826-292) かWEBで集荷を依頼する。
※ お電話の場合は右の「申込書」をキリトリ線に沿って切り取り、必要事項をご記入のうえ段ボール箱に入れてください
※ 5 冊以上であれば送料は無料です

詳しくは  **WEB** をご覧ください。

お問合せ先 学校法人立命館 総務部 寄付事務局 TEL：075-813-8110 (平日 9:30 ～ 17:00)

お申込みに関してのご注意
買取額は市場価格等を考慮して(株)バリューブックスにて査定されます。買取額は需要と供給によって決まるため、ご自身が大切にされている本であっても、残念ながら低額となることや値段がつかないこともございます。お申込みいただくに際しては、その点をご理解くださいますようお願い申し上げます。

立命館大学国際平和ミュージアム企画展のご案内

2016 年度春季特別展

KYOTOGRAPHIE 共同企画
WILL：意志、遺言、そして未来
－報道写真家・福島菊次郎

激動する戦後の日本を撮り続けた報道写真家・福島菊次郎自作のパネルによる写真展
※毎週金曜日は Friday Night Museum 開催

関連企画
5/14 (土) 13:30 ～ 16:00
「ニッポンの嘘
報道写真家 福島菊次郎 90 歳」
映画上映会 & 監督トーク
※参加無料、申込不要
同時開催
堀川御池ギャラリー会場
4/23 (土) ～ 5/22 (日)


福島菊次郎／共同通信イメージズ

特別展

世界報道写真展2016
－WORLD PRESS PHOTO16－


昨年度受賞作品 マッシモ・セステーニ (イタリア) 2014年6月7日、リビア沖

世界報道写真財団が毎年開催するコンテスト入賞作品約 150 点で構成した写真展
※毎週金曜日は Friday Night Museum 開催
BKC 6/27 (月) ～ 7/8 (金)
APU 7/11 (月) ～ 7/24 (日)

第 99 回ミニ企画展示

熟覧－メディア資料室への誘い－
ミュージアム図書室の魅力を多様な視点で紹介します。

第 100 回ミニ企画展示

満州報国農場とは何だったのか
－東京農大湖北農場を中心に－
主催 「東京農業大学満州報国農場の記憶」実行委員会

第 101 回ミニ企画展示

遺品の語る沖縄戦
国吉勇が収集した沖縄戦の遺品から平和を考えます。
主催 国吉勇応援会

会 期	
2016 年度春季特別展	KYOTOGRAPHIE 共同企画 WILL：意志、遺言、そして未来－報道写真家・福島菊次郎 4月23日 (土) ～ 5月29日 (日)
特別展	世界報道写真展 2016－WORLD PRESS PHOTO16－ 衣笠：6月3日 (金) ～ 6月25日 (土)
第 99 回ミニ企画展示	熟覧－メディア資料室への誘い－ 4月1日 (金) ～ 4月22日 (金)
第 100 回ミニ企画展示	満州報国農場とは何だったのか－東京農大湖北農場を中心に－ 4月29日 (金) ～ 5月29日 (日)
第 101 回ミニ企画展示	遺品の語る沖縄戦 6月4日 (土) ～ 6月26日 (日)

開 館 時 間	
午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分(入館は午後 4 時まで) ※Friday Night Museum 開催時は午後 7 時まで開館 (入館は午後 6 時 30 分まで)	
休 館 日	
月曜日、4/30(土)、5/2(月)、5/6(金)	
観 覧 料	
一般 400 円 (350 円) ／中・高生 300 円 (250 円) ／小学生 200 円 (150 円) () は 20 名以上の団体料金／障害者手帳をお持ちの方 (介護者 1 名を含む) は無料。 ※5/14 (土)、5/15 (日) は「国際博物館の日 (5/18)」のため無料。 ※「KYOTOGRAPHIE パスポート」提示で、春季特別展は 1 回のみ無料。 ただし常設展は別途観覧料が必要。 ※特別展「世界報道写真展」期間中は、大人の一般観覧料が 500 円になります (団体料金適用はありません)。 ※常設展示 (地階・2 階) は、上展覧期展示以外でも見学することができます。	

立命館大学国際平和ミュージアム
常設展 特別展
校 友 招 待 券
有効期間
2016 年 6 月 25 日 (土) まで
(校友 8 名以内無料)
校友会費「1111 円」
No.264